

## 教 育 委 員 会 議 事 録

(令和元年度 教育委員会 第2回臨時会)

開会 令和元年7月19日(金)

閉会 令和元年7月19日(金)

午後2時00分

午後5時55分

場所 西宮市役所東館801・802会議室

出席委員	教育長 重松 司郎 委員 前川 豊 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人	欠席委員		
会議に出席した職員	職	氏 名	職	氏 名
	教育次長	坂田 和隆	学校教育課長	木戸 みどり
	教育次長	大和 一哉	教育企画課係長	瀧井 佑介
	教育総括室長	村尾 政義	教育総務課係長	青木 威
	参与	八橋 徹		
	学事・学校改革部長	津田 哲司	義務教育諸学校教科用 図書選定委員会委員長 (高木小学校長)	谷口 晋哉
	学校教育部長	佐々木 理		
	教育総務課長	薩美 征夫	西宮高校教科用図書 選定委員会委員長 (西宮高等学校長)	野川 誠
	教育企画課長	吉田 巖一郎		
	学校改革調整課長	河内 真	西宮東高校教科用図書 選定委員会委員長 (西宮東高等学校長)	奥村 政浩
	学校改革推進課長	奥谷 和久		
	教育研修課長	岩本 康裕	西宮養護学校教科用図 書選定委員会委員長 (西宮養護学校長)	中村 恵子
署 名	教育長		委員	

付 議 案 件

<審議案件>

- 議案第25号 令和2年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件  
(学校教育課)
- 議案第26号 令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件  
(学校教育課)

<一般報告>

- 一般報告① (仮称)西宮市立第1義務教育学校説明会の開催について  
[学校改革推進課・学校改革調整課]

以 上

傍 聴

18名

重松教育長	<p>ただいまより、令和元年度第2回教育委員会臨時会を開催します。</p> <p>議事録署名委員には、藤原委員を指名します。よろしくお願ひします。</p> <p>はじめに、6月の定例会について、議事録の承認を行います。議事録は既にお手元に送付し、確認していただいておりますが、簡単な字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。それでは、承認します。</p> <p>なお、簡単な字句の訂正があれば、事務局にお伝えください。</p> <p>ここで各委員に確認します。傍聴者が本日、18名おられます。会議は公開が原則ですが、一般報告①は、市議会に報告する案件であり、現時点では公表されていませんので非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、非公開とします。</p> <p>審議の順番ですが、事件表の順に従って公開案件から先に行い、続いて非公開案件に移りたいと思います。</p> <p>では、議案第25号「令和2年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」を議題とします。学校教育課長、お願いします。</p>
学校教育課長	<p>はじめに、教科書展示会について、ご報告をさせていただきます。</p> <p>6月14日(金)から6月29日(土)までの間の法定期間14日間、総合教育センターと北口図書館にて開催いたしました。はじめの3日間は総合教育センターで、移動日の月曜日を挟んで、次の6日間は北口図書館で、再び移動日の月曜日を挟んで、最後の5日間は総合教育センターで開催いたしました。</p> <p>総合教育センターでは、8日間で72名、北口図書館では、6日間で194名、14日間で合計266名の来会がありました。</p> <p>アンケートの意見は130件ありました。事務局で集約したものを、参考資料、として添付しております。</p> <p>教科書については、数年前、教科書発行者が検定中の教科書を全国の教員らに見せて謝礼を渡したり、自社の教科書を採択した高校に無償で教材を提供するなど、</p>

重松教育長	<p>不適切な事案が発覚し、大きな問題となりました。</p> <p>事務局としましては、選定委員会や調査委員会にて具体的事例を挙げて注意喚起することをはじめ、文部科学省による通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」を 4 月 5 日付で全ての市立学校に送付するとともに、4 月と 5 月の校長会議にて各校での周知及び指導を依頼し、市内の全教職員に公正確保の徹底を図ってまいりました。</p> <p>西宮高校、西宮東高校、西宮養護学校の教科書につきましては、各校で設置された選定委員会において教科書を選定いたしました。このあと、各選定委員会委員長より採択申請いたします。以上です。</p> <p>それでは、西宮高校選定委員会の野川選定委員会委員長、よろしく申し上げます。</p>
西宮高校選定委員会委員長	<p>西宮市立西宮高等学校教科用図書選定委員会委員長の野川でございます。</p> <p>選定委員会を代表いたしまして、令和 2 年度に使用いたします教科用図書採択について申請をいたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯についてご報告をいたします。</p> <p>5 月 15 日の教育委員会臨時会において議決された、「令和 2 年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき選定委員会を設置いたしまして、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を 1 番としまして、本校の教育課程に照らし、指導上適切なものであること。2 番目に教材の分量、配分、設問等が学習に効果的であること。3 番目に本校生徒の学習能力に適応したものであること、と決めました。</p> <p>この基準にのっとりまして、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めてまいりました。</p> <p>本校におきます教育活動を取り巻く状況は、平成 21 年度入学者から複数志願選抜が導入されまして、平成 27 年度には入学者の学区が拡大というふうに変化をしてきております。このことを踏まえまして、本校生徒の特徴を見きわめながら、慎重に調査研究を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、本校に入学してまいります生徒の多くは、学習意欲も高く、国公立大学の進学を第一志望としている者が多い状況であります。ほぼ全員が、大学入試センター試験を受験する予定にもなっております。生徒、保護者ともに学校に対する期待度も高く、先生方もそれに応えられるようにより努力をしております。教科書の選定につきましても、基礎から応用まで自学自習が可能なもの。合わせ</p>

て高いレベルの発展事項も記載されているということ。それから主体的・対話的で深い学びができる授業、そのための教材が充実していると感じられる教科書を中心に検討をしてみました。

その上で、各教科の代表、管理職、保護者の代表、学識者から構成いたします選定委員会を 6 月 17 日に開催いたしまして、採択申請する教科書を決定いたしました。その結果は、採択申請書の 5 ページから 23 ページに記載しております。本校には、普通科とグローバル・サイエンス科がありますので、2 種類の申請書を用意しております。

まず、はじめに普通科についての申請書ですけど、これは 5 ページから 14 ページに書かれてあります。

7 ページから 9 ページに申請する教科書を全て記載しておりますので、ご覧ください。一番右にある【選定理由】、この欄が空欄の教科書は、今年度使っているものと同じ教科書を申請しております。【選定理由】の欄に文章表記のある教科書につきましても、今年度、使用しているものから教科書を変更したというものになります。変更した教科書だけを見やすく整理いたしましたものが、10 ページから 11 ページの「選定理由報告書」となります。

なお、参考資料といたしまして、12 ページから 14 ページに【前年度対比資料】これも添付をしております。ではこの対比資料の 13 ページをご覧ください。右側が今年度使用している教科書、左側が来年度、令和 2 年度に使用したいと考えている教科書となります。グレーの塗りつぶしになっているものは、前年度に当該生徒が既に使用している教科書を、進級しても引き続き使用する予定のもので、今回の採択の対象外となっております。黒の塗りつぶしに白字で記載されているものは、前年度から選定する教科書を変更したものとなっております。それ以外は、前年度と同じ教科書を選定しております。

それでは、10 ページをご覧ください。No. 7 の化学基礎では、問題配置、練習問題の難易度が本校の生徒にとって適切であるということ。また、発展的内容が豊富で、理系進学者にとって内容が適切であるということなどから、東京書籍の教科書を選んでおります。

続きまして、No. 12 のコミュニケーション英語 I につきましては、題材が興味深く、生徒の知的好奇心をかき立てる内容であるということ。内容理解にとどまらずリスニング力、表現力もつけられる構成から、英語 4 技能の習得にも適した教材であるということで、啓林館の教科書を選んでおります。

同じく英語の No. 13 の英語表現 I につきましては、レッスンごとに、定着のペ

ージ、発展のページというふうに分かれておりまして、学習項目の定着、英語4技能を組み合わせ方のタスクから自己発信できるように構成されている、そういう点などから、啓林館の教科書を選んでおります。

No. 30のコミュニケーション英語Ⅱの桐原の教科書は、今年度2年生が使用している教科書からは変更となりますが、今年度1年生がコミュニケーション英語Ⅰで使用している教科書からは、継続となります。学習の継続性及び、語彙や文法の習得だけでなく、リスニング力、表現力もつけられる構成になっているという点から、選定をしております。

No. 31の英語表現Ⅱの、いづな書店の教科書も、今年度2年生が使用している教科書からは変更となっておりますが、1年生が英語表現Ⅰで使用している教科書からの継続となっております。同じく学習の継続性、各レッスン導入ページ、会話を通しての文法・表現が学習できる点などから、選定しております。

No. 44にあります、コミュニケーション英語Ⅲの三省堂の教科書も、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱと同様に、生徒に考えさせる題材が多い点などから、選定しております。

なお、今回、英語の教科書は変更になっておりますけれども、生徒が興味、関心をもちそうな題材といたしまして、東京オリンピック誘致のプレゼンテーションの文章であるとか、紛争地帯で武装解除に努力されました瀬谷ルミ子さんの経験などが扱われているものを選んでおります。実際、昨年、私も瀬谷さんの講演も聞かせていただいたこともありますので、私自身も印象に残った題材となっております。

続きまして、グローバル・サイエンス科の申請書及び参考資料は15ページから23ページとなっております。普通科の申請書と同様の形式で記載しております。変更した教科書だけを見やすく整理いたしましたのが、18ページから20ページの「選定理由報告書」となっております。18ページから20ページ間のNo. 8、No. 15、No. 16、No. 27、No. 28、No. 31に記載のある変更した教科書につきましては、普通科でご説明いたしました変更した教科書と同じものとなりますので、選定理由については説明を省略させていただきます。

それでは、18ページをご覧くださいましたら、No. 9の探求化学Ⅰでは、問題配置や練習問題の難易度が、本校の生徒にとって適切であるということ。発展的内容が豊富で理系進学者にとって適切であるということから、東京書籍の教科書を選んでおります。

19ページ、No. 24、No. 25の解析学Ⅱ、数学各論Ⅱでは、思考力・判断力・

<p>重松教育長</p>	<p>表現力、学力の 3 要素の育成に配慮した例題であるとか、トピックが掲載されている点、いろいろな解法が豊富に掲載されておりまして、アクティブラーニング型の授業を構成しやすい点、また、日常事象、数学の関連性についても、深い学びにつながられるというところから、数研の教科書を選んでおります。報告は以上となります。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、西宮東高校選定委員会より説明をお願いします。</p> <p>奥村選定委員会委員長、お願いします。</p>
<p>西宮東高校選定委員会委員長</p>	<p>それでは、西宮市立西宮東高等学校教科用図書選定委員会委員長の奥村が、本校の選定についてご説明いたします。</p> <p>それでは、令和 2 年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。最初に、申請に至るまでの経緯を報告いたします。</p> <p>5 月 15 日に、教育委員会臨時会において議決された、「令和 2 年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づいて選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を、一つ、指導要領の内容に従い、本校における生徒の進路、適性、能力等を十分考慮し、教育課程実施上最適であること。</p> <p>二つ、各教科ごとの教科書記述内容を研究して、さらに地域社会の要望など客観的資料を集めて総合的見地から選定すること。</p> <p>三つ、各教科から推薦のあった教科書を、本校の教科書選定委員会において再検討を加えて公正を期すること、と決めました。</p> <p>この基準に沿って、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。本校では、学区の拡大等により、ここ数年、入学してくる生徒も非常に変化して、そういう意味で注意深く教科書の選定をいたしました。</p> <p>ただ、今年度に関しましては、どの教科書会社においても、内容の変更、改定はございません。ですので、今使用している教科書が、今の生徒のニーズに合っているのかどうかを中心に各教科での教科書の検討が行われました。</p> <p>また、教科書の使用期間であるとか、年次進行の面から変更を前提として、教科で検討する教科もございました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識経験者から構成する選定委員会を 6 月 19 日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p>

その結果は、採択申請書の 25 ページから 34 ページに記載しております。

申請書の見方については、西宮高校と同様でございますので、説明を割愛させていただきます。なお、参考資料として、32 から 34 ページに【前年度対比資料】も添付しております。27 から 29 ページには、申請する教科書を全て記載しています。

この中で、昨年度から変更となった教科書について説明をいたします。

30 ページをご覧ください。

No. 1 の国語総合については、現代文、古文、漢文ともに扱いやすく、なじみ深い教材が多く、また教材として定評のある作品を数多く取り入れている点などから、明治書院の教科書を選定いたしました。

No. 19 の現代文 B については、教材として定評のある作品を数多く取り入れている点で、また、担当者間の解釈や見解の相違が生じにくいこと、また、現在の生徒の状況に合っている教材も多い点などから、東京書籍の教科書を選びました。

No. 20、No. 21 の古典 B については、今年度 2 年生が使用している教科書からは変更となりますが、今年度 1 年生が国語総合で使用している教科書からは、継続となります。学習の継続性及び、授業に活用可能であるデータが多く、生徒への支援が手厚くできる点などから、三省堂の教科書を選定いたしました。

No. 37 にある、2 年の英語表現Ⅱの数研出版の教科書は、今年度 2 年生が使用している教科書からは変更となりますが、今年度 1 年生がコミュニケーション英語Ⅰで使用している教科書からは継続使用となります。高校英語の根幹である英文法についての説明が詳しく、例文も厳選されており、文法事項の理解を深めることに適している点から、この教科書を選びました。

No. 42 のコミュニケーションⅢの数研出版の教科書も、当該の生徒にとっては 1 年次、2 年次から継続となります。継続性を重視したことに加えて、グローバルに活躍するために読ませたい題材が豊富であること、写真等の資料から導入場面や内容を深める際に使いやすい点が、選定したポイントとなりました。

No. 43、情報の科学では、図説と例示が多く掲載されており、解説についても生徒にとって理解しやすい構成となっています。また、教科書で扱われる内容が実技課題につなげやすいことなどの理由により、日本文教出版の教科書を選定いたしました。

報告は以上です。ご審議をどうぞよろしくお願いいたします。

重松教育長

ありがとうございます。



西宮養護学校選 定委員会委員長	<p>続いて、西宮養護学校選定委員会より説明をお願いします。</p> <p>中村選定委員会委員長、お願いします。</p> <p>西宮市立西宮養護学校教科用図書選定委員会委員長の中村でございます。</p> <p>選定委員会を代表して、令和 2 年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯についてご報告いたします。</p> <p>5 月 1 5 日の教育委員会臨時会において議決された「令和 2 年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、西宮市教育委員会の採択に関する基本方針に従い、最も適切な教科書を選ぶ。</li><li>2、小・中・高の一貫性や教材の系統性を十分に考慮して適切なものを選ぶ。</li><li>3、各教科の主たる教材として、目標達成に適したものを選ぶ。と決めました。</li></ol> <p>この基準にのっとり、各教科の教科書について、専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>特別支援学校の場合、個々の児童・生徒によって障害の程度、状況も非常に多様であり、個々のニーズについて、確認しながら、調査研究を進めました。</p> <p>本校は現在、単一障害の児童・生徒はおりません。全員が、知的、視覚、聴覚、病虚弱等の障害をあわせ持つ重度重複障害の児童・生徒です。</p> <p>そうした実態を踏まえて、自立活動領域を基盤にした教科学習の深化を推進するという本校の現状目標に鑑みて、各教科、各学年の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を 6 月 2 1 日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>3 5 ページ以降に小学部、中学部、高等部の順で記載しております。</p> <p>また、3 7 ページから 3 9 ページは小学部についての採択申請書となります。</p> <p>小学部では、国語、算数、生活について一般図書を選んでおり、それ以外は検定教科書を使用する予定です。</p> <p>本校では、授業形態として、生活学年の児童・生徒全員で集団学習をする授業と、発達課題別のグルーピングにおいて、個別に学習する授業形態を併用しています。</p> <p>集団学習の場合でも、担当の教員が付きながら、個々の児童・生徒の状況に応じた指導を行っております。今回選定したこれらの図書は、集団学習の形態の授業での使用を想定しています。</p>
--------------------	--

「生活」の教科書については、児童 1 人につき、小学部 1 年では 1 冊、小学部 2・3 年では 2 冊まで、小学部 4 から 6 年生では 3 冊まで採用することができます。しかしながら、来年度の児童についても全学年 1 冊とすることにいたしました。なお、小学部 1 年生については、来年度入学してくる児童の詳細な実態が年度末、3 学期末ぐらいまで、なかなかわからないため、例年、検定教科書を採用しており、来年度も同様の方針であるため、一般図書としては報告に挙げておりません。また、39 ページに参考資料として挙げている図書は、西宮版の平成 31 年度使用一般図書一覧及び兵庫県教育委員会の調査研究資料のどちらにも掲載されていない図書を記載しています。

次に、40 ページをご覧ください。中学部についての採択申請書となります。中学部では、国語、社会、理科について一般図書を選んでおります。各学年全員が同じ図書を選んでいきます。数学については、文部科学省による著作本、いわゆる星本を使用します。1 年生については、6 名が「さんすう☆」、1 名が「さんすう☆☆☆」を、2 年生は、6 名が「さんすう☆☆(1)(2)」を使用し、1 名が「数学☆☆☆☆」を継続使用します。また、3 年生は全員が今年度使用の「さんすう☆☆(1)(2)」を継続使用します。それ以外は検定教科書を使用する予定です。先ほどの小学部と同じになりますが、41 ページには、西宮版の平成 31 年度使用一般図書一覧及び兵庫県教育委員会の調査研究資料のどちらにも掲載されていない図書を記載しております。

最後に、42 ページをご覧ください。高等部についての採択申請書となります。

42 ページは、今回申請している検定教科書についての申請となります。

No. 3、道徳の学研の教科書は、中学部 1 から 3 年において使用している 1 年生の道徳の検定教科書との継続性の点、また、写真や絵、漫画等、多く使われており、生徒にとって内容を理解しやすい点などから選びました。

どの教科に関してもそうですが、発達課題とは別に、児童・生徒にはそれぞれの生活年齢があります。特に高等部においては、社会的な自立を目指していくべき時期であり、道徳的な意味や価値について、学習を進めていくにふさわしいと判断しました。

No. 1、No. 2 に記載の高等部 1 年の保健体育と音楽 I の教科書は、前年度と同じ教科書となります。

次、43 ページをご覧ください。43 ページには、一般図書について選定したものを記載しております。

また、参考資料として、44 ページに今回選定した一般図書が、どのような本で

	<p>あるかについて記載しております。</p> <p>高等部では、ここ数年、暮らしに役立つシリーズを選ぶことが多いのですが、これは今まで取り組んでいた認知の学習がいかに関生活に反映できるか、具体的には、自動販売機や駅、券売機等で、それぞれの子供たちが学習に生かせるようにといった進路先での自立を目指し選んでいます。</p> <p>また、国語読み聞かせでは、擬態語や擬音語、繰り返し、韻を踏むなどの日本語表現独特のリズムを体感しながら、将来的なコミュニケーション能力の向上を目指して、それぞれ選定しております。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p>
	<p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p>
前川委員	<p>説明をありがとうございました。</p> <p>私の方からは、高等学校2校のそれぞれ委員長から説明があった内容について、少し追加で説明をいただきたいと思います。</p> <p>先にお願ひしたいことを言います。</p> <p>コミュニケーション英語、ここについては選定理由を丁寧に説明していただいたんですけども、題材のテーマや内容、これは非常に大事だというふうにおっしゃっていますが、オリンピックについて扱っているとかがあったんですけども、オリンピックを扱えば、タイムリーではあるけれども、生徒の成長あるいはコミュニケーション能力、それから社会的効用などそういうことに、即つながるという単純なものではないと思うんです。そこで、できたらもう一つか二つで結構ですので、コミュニケーション英語について、選定理由の向こう側にある題材の内容とかテーマなどそういうことについて、もう少し紹介していただきたいと思います。</p> <p>と言いますのは、私、兵庫県の高等学校の入学試験を毎年一応目にしたり、解けるものは解いたりするんですが、昨年度の実施した分で、福岡伸一先生の「動的平衡」でしたか、これが試験問題に出てて、ああ、すばらしいなと思いました。</p> <p>西宮あるいは兵庫県の生徒たちが高校で学ぶに当たって、福岡先生の、きちんと勉強してないですけども、「生物と無生物の間」、かつて非常に話題になった本ですけども、こういうのは試験問題に当然のように出るんだよっていう、こう</p>

	<p>いうふうに試験を受けたり、こういうもので知識を広めたり、深めたりして高校の学びの世界によろこそってというメッセージが私はすごくあるように思っています。これは兵庫県の公務員の採用試験でも、西宮についても同じようなことが言えると思うんです。兵庫や西宮の文化を大事にしたり、自然を大事にしたり、そういうのが背景にあって、そしてそのメッセージのもとに採用試験であるとか、入学試験が行われていると思います。長々言いましたけれども、ぜひ市立西宮高校あるいは東高校については、コミュニケーション英語について、この題材を選んだ願いの向こう側にあるものも合わせたところで、内容の紹介をもう一つ、二つお願いしたいと思います。</p>
重松教育長	<p>では、コミュニケーション英語について、お願いします。 野川委員長。</p>
西宮高校選定委員会委員長	<p>市立西宮高校ですが、オリンピックの誘致のプレゼンテーションの文章を読む。もちろんただ読むだけではなしに、そのプレゼンテーションがどのように人の心をつかむ内容であるかというのを理解させる。それを理解した上で、例えば次のステップ、自分がもしこうプレゼンテーションをする場合には、どういう表現、どういう言い回しをすれば、つかむことができるのかということ学ぶ。そういう目的もあります。</p> <p>それから、先ほどの中では武装解除をする瀬谷さんの話も紹介させていただきましたが、その人の持っている特性、自分がどういう特性をもっているのか、自分が足りないのはどういうところなのか、自分は将来どうしたいのかということも考えさせる意味で内容を取り入れ、さらに、考えるだけではなしに、それをどう表現するかということにつなげていけたらなと思っています。</p>
重松教育長	<p>奥村委員長、お願いします。</p>
西宮東高校選定委員会委員長	<p>特にコミュニケーション英語の中では、今までの英語のように英文を理解するだけではなく、その次のステップに進みたい。特に今は新しい学習内容を取り入れていこうとしている中で、例えば英文を読んで、読んだことを次はグループ内で英語で討議したり、そんなことも考えています。そのときに、それにふさわしい教材となると、余り難しいものであり過ぎると、日本語の書かれたものを日本語で討論するのであれば、まだ生徒のレベルとしては何とかできると思うんですけ</p>

	<p>ども、それを英語で討論させようとしたときには、書かれている内容というのを精選して子供たちが自分の考えた思いを英語で伝えやすい。そんな教材を用意する必要もあると思います。</p> <p>例えばこの今回採用した教科書の中には、発展途上国の栄養失調問題とそれから先進国の過食の問題を両方同時に改善しようというプロジェクト、今世界で「TABLE FOR TWO」というプロジェクトがあるんですけども、その活動について紹介したものがあつた。こういうことであれば、割と生徒としては、自分の考えをまとめやすい。そして恐らく今、自分のある知識の中で自分の思いを英文に直して、伝え合いやすい。そういった授業を目標としたいので、それに見合う教材、それがやりやすい教材が含まれているかというのも選定の一つです。</p> <p>もう一つご紹介しますと、今度はもちろん教材の英文を読んでから、生徒の心に返るものがあるような教材も選びたいと。例えば今回の選定のⅡの方、継続の教科書ですので学習した中なんですけれども、トルコのエルトゥールル号でしたか、あの事件で、大島の人々が非常に献身的に救助活動を行ったと。そういうことがあつて、それから100年たった後、イラン・イラク戦争のときにトルコの人々によってテヘランの日本人救出につながつた。100年前の善意が国際社会の中で100年たった後にこんなことで返ってくることもあるんだよなんて、そういう教材もありまして、これから国際社会で活躍してもらいたい高校生の時代に、そういう時や場所を隔てても人の善意や感謝の気持ちっていうのは、こういうことで人の心によってしっかり結びついていくもの。それが何か大きな力になっていくこともあるんだよみたいな、そんな内容もありましたので、教科書を選ぶときは、もちろん教材自体の使いやすさ、あるいは今特に附属というか、英文をリーディングしているような教材、それがしっかりしているなんていうのも、選定の理由としては、よく考えるんですけども、やはり中身の組み立ての中で、我々が目指すべき授業に合う教材というのを英語で考えて選んでいると、そんなふうに思います。</p>
重松教育長	前川委員、よろしいですか。
前川委員	はい。協議にはならないかもしれませんが、私の方は、そうやってこう丁寧に題材を選んで、それをこういう場でみんなで校種をまたいで共有できることはすばらしいなと思っています。興味関心、知的好奇心、こういうものにしっかりと、英語力だけではなくて、英語を使って豊かなコミュニケーション力をつける

重松教育長	<p>とか、そういうところで、非常にすばらしい申請がされてると思いました。 ありがとうございました。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>よろしいですか。なければ採決に入ります。</p> <p>議案第25号「令和2年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、本件は可決されました。</p> <p>続きまして、議案第26号「令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」を議題とします。</p> <p>それでは、選定委員会より説明をお願いします。</p> <p>谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長の谷口でございます。よろしくお願 いします。</p> <p>はじめに、経過報告をさせていただきます。</p> <p>5月15日の教育委員会臨時会において、「令和2年度使用西宮市立学校教科用 図書の採択に関する基本方針」を決定いただいた後、5月22日に第1回選定委 員会を開催いたしました。</p> <p>その中で、「令和2年度使用義務教育諸学校教科用図書選定委員会報告方針」を決 定するとともに、本年度は、小学校教科用図書の採択替えに当たるため、調査員 を置いて、調査研究を行うことを確認いたしました。</p> <p>また、特別支援学級用の一般図書についても調査員会を設置し、調査研究を行う ことを確認いたしました。</p> <p>調査員につきましては、「義務教育諸学校教科用図書選定委員会運営要領」に従 い、国語科と算数科13名、社会科と理科は7名、生活科、音楽科、図画工作科、 家庭科、保健、英語、特別の教科道徳は5名、特別支援学級用の一般図書の調査 員5名で構成いたしました。なお、調査員については、各学校から校長が推薦し、 選定委員会から委嘱いたしました。</p> <p>5月28日に、第1回調査員会を開催し、採択方針と調査研究についての説明、</p>

重松教育長	<p>教科書採択に係る公正確保等について確認し、調査研究を始めました。</p> <p>その後、調査員による調査研究を行い、7 月 3 日に第 2 回選定委員会を、翌 7 月 4 日に第 3 回選定委員会を開催いたしました。各調査員代表から調査結果の報告及び聴取を行い、報告書の加筆修正等を行い、本日の報告書を作成いたしました。なお、公正確保につきまして、調査研究が静ひつな環境の中で、公正、公平な立場で行われたことを合わせてご報告申し上げます。</p> <p>次に、本日の報告書の概要について、ご報告いたします。</p> <p>報告書には、「小学校、義務教育学校前期課程教科用図書の調査報告」、「特別支援学級用一般図書の調査報告」の 2 種類の調査報告がございます。</p> <p>「小学校、義務教育学校前期課程教科用図書の調査報告」につきましては、報告書の 3 ページから 21 ページに記載しております。</p> <p>報告方針の中で設定した、特別の教科道徳以外の教科については 11 観点について、特別の教科道徳については 12 観点について、発行者ごとに、特徴を文章表記しています。</p> <p>観点の一つである、カラーユニバーサルデザインにつきましては、第 1 回調査員会の中で、色弱の方の見え方を模擬体験するメガネを調査員が試着し、調査の視点としてしっかりと捉えてもらうようにいたしました。</p> <p>調査結果といたしましては、報告書にも記載しておりますが、各教科、どの発行者でも配慮がされておりました。教科書の裏表紙や教科書編集趣意書にカラーユニバーサルデザインへの配慮について全ての発行者で記載がありました。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の 24 ページから 31 ページに記載しています。後ほど、報告させていただきます。</p> <p>以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、今から議案第 26 号の議事の進行について確認させていただきます。</p> <p>教科ごとに国語から道徳まで順番に 1 教科ずつやっていきたいと思っております。採択の方法といたしましては、まず各教科において、出版者が 4 者以上の場合は、推薦を 2 者いただき、3 者以下の場合は 1 者を推薦いただきます。併せて、その教科書を選定した理由を述べていただきたいと思っております。</p> <p>次にそれをもとに、採択となりますが、教育委員会、今は委員が 5 名いますので推薦された教科書が 5 分の 3 以上であれば、それを採択することになります。</p> <p>ただし、5 分の 3 以上が 2 者以上の場合は、その中から 1 者を決定します。ただ</p>
-------	---

	<p>し、5分の3と5分の4が出た場合は、5分の4を採択という形にさせていただきます。</p> <p>また、採択の順としては、小学校義務教育学校前期課程教科用図書採択につきましては教科ごとに審議を行い、採択する教科書を議決していくことにします。</p> <p>以上の2点について、よろしく申し上げます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>では、教科ごとに議事を進行させていただきます。</p> <p>まず、最初に国語の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>谷口選定委員会委員長、よろしく申し上げます。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>では、国語の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、各発行者の知識・技能の習得についての工夫や配列の工夫、単元を通して言語活動を行う工夫などを中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、まず、東京書籍は、全ての単元で学習の視点や方法を明確に示す「言葉の力」が設定され、習得させたいことがはっきりと確認できるようになっています。また、説明文や「話す・聞く」の単元では、「生かそう」という場面が設定され、生活の中で学んだことを生かすことができる工夫がありました。</p> <p>学校図書は、教材同士を関連させることで系統性を持たせ、学習を繰り返しながら、基礎・基本を積み上げていく構成となっています。また、取り上げられている題材が、インターネットや日本の文化など日常生活と関連したものが多く掲載されており、対話を通して多様な考え方を受け入れられる力の育成を図ることが期待できます。</p> <p>教育出版は、「読む」単元では、教材の後に学び方が提示され、児童の思考の流れがイメージしやすい工夫がありました。また、3年生において「スーパーマーケットの見学」についての教材では、他教科とのつながりを図った単元が設定されています。</p> <p>光村図書は、単元の最後のページに、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」が設定され、学習の流れや次の課題に見通しを持つことができる</p>



重松教育長	<p>構成となっています。そのほか、書き文字に近いフォントが採用され、文字が太くて読みやすい上に、児童に正しい字形を習得させる配慮もされていました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今、説明がありましたけども、何か質問がありましたら。</p> <p>よろしいですか。それでは、それぞれの各委員のほうから、採択の結果を報告お願いしたいと思います。まず、前川委員からよろしくをお願いします。</p>
前川委員	<p>私の方は、西宮の子供たちには、ぜひ書く力、記述、そういうふうな機会を多く取れたらという、そういうことを、これまでの課題や願いの中で、事務局の方からも学校からも聞いてきました。それを意識しました。</p> <p>もう一つは、題材の中で、西宮で学んだ子たちが、何年間にもわたってこの方のお話を学んだというものを一つは持ちたいなと思いました。2年前に採択したときにちょうど、採択日の前日か前々日だと思いますけど、日野原重明さんがお亡くなりになって、そのことを私はこの席でお話したことがあります。日野原重明さんの「君たちに伝えたいこと」という題材は、今年も取り扱っている出版者がありました。これを日本の中の何割かの子供たちが共有できるという意味は、すごく大きいと思います。この題材を一つ取り上げているかどうかで決めるわけではありませんけれども、日本の国語教育の小学校の題材の一つとして、やはり欠かせない題材、あるいは人物の一人だと私は思っています。非常に印象が強いです。</p> <p>それから、たまたまその出版者になるんですけども、「言葉の力」というネーミングは、非常に私は違和感を感じました。単元の最初と終わりに、全部「言葉の力」というネーミングでまとめていくというのは、小学生には何か少し浮いていて難しいなという、そういう違和感を感じたので、これは感想として伝えます。</p> <p>それから次は、意見文を書くということについて、単なる作文ではなくて、意見文や、やがては評論など、そういうことに子供たちが読書であるとか、それからものを書くということについて、ぜひ自分の考えをまとめたり、発表したりという、そういう課題に小学校を越えて、力をつけていってほしいと思っています。</p> <p>同じ出版者ばかり挙げますけれども、ここの出版者では意見文を書こう、加えて資料をもとに、好きなことを意見を言う。みんな好きなことを言っているんだ、ではなくて、やはり資料を手元に持って調べたり、意見を十分考えたりなどとい</p>

	<p>うことが押さえてあることを大事にしているなというふうに思いました。</p> <p>それからもう1者ですけれども、こちらの方は、「私は、僕は」というような単元で、資料とスピーチを一体的に学習へ展開しようという、先ほどの出版者と同じようなものを大事にしている感じがしました。</p> <p>それから、こちらの出版者については、提案文を書こうという単元で、意見文への関心というふうにして、単元をつないで、ずっと自分の考えを大事にして記述するということについて、国語の学習が展開されていることに非常に興味、関心を持ちました。引かれました。</p> <p>後は、この2者だけではないですけど、非常に読書について、本に親しむということについて、どの出版者も手厚い編集をされていることに、敬意を表したいと思います。西宮の子たちは、小学生の時には読書が好きというパーセントが高いのに、だんだんそれが下がっていくんです。読書が好きだったはずの子供たちは、年齢とともに読書がそれほど好きではなくなってくる。これが事実だとすれば、非常に悲しいなど。本当の読書の楽しさを私たちは、育てられていないのではないかと、そういう無念さとか反省を私も持ったりしています。「私と本」という単元の中には、図書館の利用の仕方などそういうノウハウだけではなくて、その背景に、上手に感想文が書ける子を育てたいのではないと。子供にとって、上手に感想文を書く子が国語力のある子ではないと。読書によってしっかりと人間力をつける子が国語教育の成果だと、何かそういうふうなことが、垣間見えました。</p> <p>ということで、光村図書と東京書籍この2者を先ほど言った理由から推薦したいと思います。</p>
重松教育長	<p>そうしたら光村と東書ということですね。</p> <p>ありがとうございます。では、側垣委員お願いします。</p>
側垣委員	<p>私も4者の教科書を1年生から6年生まで読ませていただきました。なかなか時間的な余裕がなくて、隅々まで全部目を通したというわけではありません。ただ、私が主眼において、どんな教科書がいいかなと考えたのは、やはり前川委員が先ほど少し最後の方でおっしゃいましたが、子供たちが文章を読むという、あるいは物語を読むということをどんどん好きになってもらいたいなど。それがやはり国語の教育の一番基礎じゃないのかなと。</p> <p>私は専門の仕事はもう保育と幼児教育など、子供にかかわる仕事をずっとしておりますけれども、保育園の子供たちは絵本がとても好きです。読むことがとって</p>

	<p>も好きです。そういう好きな力を伸ばしていくために、小学校でどんな形で本を読むのか。教科書っていう堅いものを読んでいるという意識ではなしに、楽しく学んでいるということのイメージを子供たちに持ち続けてもらいたいという観点から教科書を読ませていただきました。どの4者も本当に工夫されて、子供たちがかかわりやすいような中身になっていますし、私たちの子供のころとは、比べ物にならないほどいろいろと工夫されている教科書であったというふうに思っています。</p> <p>その中で、私が先ほどから申し上げていますように、教科書で学んだこと、それに関連するこんな本があるよとか、絵本があるよって広がりをもった提案なり、そういう資料を提供されているというところで見えて見ますと、2者が特にそこに重点を置かれているのかなというふうに思って、その2者を選ばせていただきました。私は光村図書と東京書籍の2者を選ばせていただきます。</p>
重松教育長	光村と東書ということで、ありがとうございます。長岡委員、お願いします。
長岡委員	<p>私は2者、東京書籍さんと光村図書さんです。</p> <p>その選定理由ですが、まず、東京書籍は、冒頭で、当該学年で身につけさせたい言葉の力というものを領域別に示していて、1年間の学びが見通せることが明確にされているということです。</p> <p>それから、考え合うような場面、お互いに意見を出し合うような場面というようなものを設定していて、多様な考えを認め合ったり、深め合うというようなそういった場面が可能な内容がたくさん設定されているということです。</p> <p>それから、光村図書は、ほかの3者も本についてはたくさん紹介していただいているんですけども、ここでも本の紹介が多くて、それから目的に応じて本を選ぶというような読書への関心を高めて、幅を広げていくようなことが重視されている内容であるということが選定の理由です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。藤原委員、お願いします。
藤原委員	<p>まず結論を申し上げますと、私が推したい2者というのは、皆さんと一緒になんですけれども、東京書籍さんと光村図書さんになります。</p> <p>理由は、大きく二つあります。まず、今回の学習指導要領において、子供たちに議論の中で考えて、考えをまとめて発表する力をつけるっていうところがあると</p>

いうふうに伺っております。そうした際に、それぞれの単元の教材に関連して、  
どういった問題提起をするのか。その問題提起からどういう議論を促すのか、と  
いうことが授業の中で非常に大切になってくるのかなと感じます。  
そうした問題提起が適切かどうかという視点でそれぞれ拝見しますと、例えば国  
語のテストっぽいという、言い方が悪いんですけども、文の中に答えを探す  
ような問題提起のものもあれば、やはりそれだけでは、一概に答えは出なくて、  
子供たちが議論を深める中で何らかのふさわしい答えを見つけていくような形で  
の問題提起をされているところなどがありました。  
また、議論の導線として、その問題提起の近くに子供の絵があって吹き出しがあ  
ってっていうふうな、議論の導線を書いてあるのがありましたけれども、その導  
線がもう事実上答えが書いてあるようなものもあれば、非常に適切な導線になっ  
て、ここから議論を深めていけるような形のもの、子供たちが議論をする余白を  
つくってくれているようなもの、いろいろありました。  
そうした中で、問題提起の適切さとその導線の引き方の巧みさ、うまさという点  
で、申し上げた 2 者を選ばせていただきました。  
もう 1 点は、子供たちへの本への関心の進め方です。各者さんとも推薦図書関連  
書籍をたくさん充実して挙げていらっしゃいます。子供たちに読書の習慣を何と  
かつけさせたいというのが、これがもう多くの保護者の切なる願いであります。  
そうしたときに、各単元と推薦図書がきちんと関連づけられているか、ひもづい  
ているかという観点から見ました。ある単元の物語なり説明文なりがおもしろい  
と思った子供が、同じ作者の本を読みたいであるとか、同じ分野の本を読んで  
みたいと思ったときにうまくそこを誘導できているかという観点から拝見した  
ときに、申し上げた 2 者が非常にその関連づけ方が上手であるというふうに考  
えました。

重松教育長

ありがとうございます。  
最後私の方の考えですけども、今言われているのは、読む、書くが十分でない状  
況があるということで、それは西宮の子供たちにも当てはまります。読んだこと  
をきちんと解釈できるか。そして読んだ内容をきちんとまとめて書くことが必要  
であるというふうに考えますので、その意味では読むことを狙いとしたそれぞ  
れの単元が中心となって、それをもとに書くことが連動している教材配列という  
ことで、見せていただきました。結果的には私も委員の皆さんと同じように光村と  
東京書籍ということになるかと思っております。

前川委員	<p>そうしますと、全部、光村と東京書籍で終わりましたので、最終的にこの2者のうちのどちらかで、最終決定をしたいと思います。</p> <p>すみませんけども、どちらかをお願いしたいと思います。</p> <p>そしたら、前川委員。</p>
重松教育長	<p>急にどちらかと言われても。</p>
重松教育長	<p>では、少し待ちましょうか。5分ほど。</p> <p>どちらかに最終的に決定していただきます。</p> <p>(休憩)</p>
重松教育長	<p>それでは、よろしいですか。大体決まりましたか。</p> <p>そうしましたら、前川委員からお願いします。</p>
前川委員	<p>東京書籍では、具体的に何ページとか数字をお出しできないんですけれども、少し文字が小さくて見にくいようなページが何ページか目立って、私、目が悪いんですけれども、少し見にくいなと気になってはいました。</p> <p>それから後は、インターネットを扱うような議論の中で、何か説得という工夫をすごく強調されていて、説得の意味は難しいんですけど、小学校の子たちにとって、相手を説得することが、必ずしも正しい国語なのかなとかいうところについて、少しこだわりをもちました。</p> <p>正しく説明をしたり、理解をしてもらうための努力はいいけど、説得し切ったら、それって国語力なのかなとかね。小さいことと言うとそういうところで、少し迷ったところがありました。それをもって、だめだということではありませんが、光村さんの方を私は1者ということでは挙げたいと思います。</p> <p>光村さんについては、ジャーナリストとかそれから、演出家、作家、生物学者、そういう方の意見文を幅広く、これ6年生ですよ。取り扱っているなど。</p> <p>それから、もう一つは国語で身につけた力が他の教科や領域、日常生活、さらには未来の社会、将来の人生において発揮できる力であること。そういうことはもう当然であるという、そういう豊かな国語科の世界を展開しているということを経験し出していて、なるほどと思う単元がたくさんありました。</p> <p>ということで、大人の私が非常に小学校の教科書で感銘を受けたところが多かつ</p>

側垣委員	<p>たということから、光村でお願いしたいと思います。</p> <p>私は、やはり光村さんを挙げたいと思います。</p> <p>というのは、一つはやはり読みやすい。単純なんです、字が読みやすいということと、非常に整理されているので、例えば私が、この教科書を使って子供たちに何かを伝えたいなというときに、光村さんの方が伝えやすいかなと。これはもう私の感覚なんです、子供たちに説明をしやすい、伝えやすいなというふうな感覚をもって見せていただきました。</p> <p>東京書籍さんの方も、比べようはないんですが、どちらかという私の気持ちの中で、光村さんの方がいいかなという、単純なところですけども。</p>
長岡委員	<p>私は、東京書籍です。先ほどの選定理由のところでもお話ししましたように、考えを伝える場面、互いに意見を出し合う学びの場面というのを、設定しているというところでは。</p>
藤原委員	<p>私も東京書籍ですね。先ほど申し上げたその問題提起と、後の議論への任せ方というのが、若干、光村さんもすばらしい問題提起をされているんですけども、少し何ていうのか、議論の先を書き過ぎているかなという印象はあるんです。非常に優劣つけがたいんですけども、東京書籍を推させていただきます。</p>
重松教育長	<p>最後に、私もどちらも甲乙つけがたいんですけども、ストーリーを追いかけていくというか、東書の場合は、順番に細かい質問があって、ストーリーを追いかけているという感じがありますけども、光村の方は「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という感じになっていまして、今言っている「対話的、主体的な学び」を扱うのであれば、光村の方が適しているかなと思って、私は光村の方を推薦させていただきます。</p> <p>そうしたら、3対2になりまして、光村ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、国語については、光村図書に決定いたします。</p> <p>次に、書写の教科書の採択について、審議を始めます。</p> <p>谷口選定委員長、説明をお願いします。</p>

義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>書写の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、取り上げている教材や、他教科や日常生活との関連性、また、写真やイラスト、QRコードなどを使った姿勢や書き方などのポイントのわかりやすさを中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、教科書の大きさが唯一A B判で、他より大きくなっています。その大きくなった部分に、学習事項のインデックスを設けており、どのような学習をするのか子供たちが一目でわかるようになっています。単元で身についた知識・技能を他教科に生かすための「生活に広げよう」のコーナーも充実しています。</p> <p>学校図書は、学習の流れが「確かめて書く」「考えて書く」「生かして書く」の3段階で設定されており、知識・技能の定着を図ることができる構成となっています。また、手本について、縮小ではなく実寸大の見開きページで掲載されていることから、児童にとってもわかりやすく示されていました。</p> <p>教育出版は、決まった学習課題だけではなく、自分の書きたい文字を選ぶことができる工夫があり、主体的に学ぶことが期待できる課題が提示されています。また、招待状や手紙など、相手にわかりやすく伝えるための書きあらし方についての活動が紹介されていました。</p> <p>光村図書は、各単元を見開き1ページとしていることから、わかりやすい紙面構成となっています。また、見通しをもって学べるように、「考える」「確かめる」「生かす」という流れを、全教材に示しています。漢字の成り立ちをイラストで解説する「漢字図鑑」が掲載されており、文字への関心が高まることが期待できます。</p> <p>日本文教出版は、各教材に「めあて」が明示され、それに対する自己評価欄「できたかな」が設けられています。このことから、主体的な学びの中から達成感や成長を実感できるように工夫されています。平仮名については、その成り立ちを意識した「おれ」「曲がり」などを表記していることも特徴です。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のことについて、質疑があればお願いしたいと思います。</p> <p>よろしいですか。それでは、側垣委員からお願いします。</p>
側垣委員	<p>これを見せていただきまして、私、少し視点としてこだわったのは、私、左きき</p>

	<p>なんです。書写のときに右では書くのですが、やはり1年生で最初に書写を始めたときに、左ききなんだけど、どうしたらいいのかなという迷いがあったので、そういった配慮がされてたのは2者だったと思います。東京書籍と文教出版さんが、左ききについて、左ききの子はこちらに置けばいいよというふうな、そういう配慮があった。非常に細かいところなんです、そういう子供たちの立場に立ったら、そこに心遣いがあるなというふうに思いました。</p> <p>それが、一番目の感想なんです、その他につきましては、私たちの頃の教科書よりも非常に配慮されていて、運筆であったり、これは各者とも非常に配慮されていると思いました。</p> <p>その中で、例えば古文、古書ですがそういうふうな取り扱いであったり、子供たちが、いろんな書写で学ぶ、興味を持って学べるような資料を提供しているなど、そういうふうな視点で見せていただいた中で、2者を選ばせていただきました。一つは、東京書籍。それともう1者については、総合的に見て光村図書。その2者を私は選ばせていただきました。</p>
重松教育長	ありがとうございます。長岡委員、お願いします。
長岡委員	<p>私が選んだ2者は、光村図書と東京書籍です。</p> <p>光村図書は、低学年のところ、キャラクターを使って、その動きで「とめ」「はらい」など筆の動きを示している。習い始めの子供にとっては、とても興味を引いて関心がわいて、文字を書いてみたいなというような広がりを生んでいくんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>それから東京書籍の方は、文字を正しく書くということだけにこだわっているのではなくて、文字の仕組みなどにも理解を促すような内容が掲載されていた。そういうところが、よかった点だと思います。</p>
重松教育長	藤原委員、お願いします。
藤原委員	<p>私から推薦させていただきたいのは、東京書籍さんと教育出版さんの2者になります。</p> <p>理由は、一つはまず子供たちが、文字の書き方を学ぶに当たって、いかにイメージしやすいか。イメージのしやすさの一つに「いっぴん」とか「ぺた」とかと言った擬音語をうまく使っているかどうか、使われているかどうかという視点を一</p>



重松教育長	<p>つ見ました。</p> <p>それと後、教材として先ほどのご説明にもあったように、手紙であるとか招待状であるとか、そういった実用的なものがあるかというところと、後は高学年になったら古文であるとか、漢籍であるとか、そういった教養を広げるという意味で、ふさわしい教材があるかどうかという観点で拝見したところ、これらの条件をうまく満たしてくださっているのが、先ほど申し上げた東京書籍さんと教育出版さんというところで、この2者を推薦させていただきます。</p>
前川委員	<p>ありがとうございます。前川委員、お願いします。</p> <p>私の方は、書写を小学校以降に学んでいたり、あるいは教養として身につけていくときに、まず筆の持ち方とか鉛筆の持ち方、ここについてももちろん家庭の協力は要るんですけども、しっかりと小学校で押さえないなと思います。</p> <p>特に、微妙に違うんですけど、中指をどうするんだと。中指は枕になるんだ、あるいはピタッと当てるんだなど、鉛筆も筆も含めて、持ち方とそれから姿勢。姿勢もただピンとするというだけではなくて、鉛筆の先が自分で見える、これってやはり小学校のときに少なくとも徹底的にやる・やらないで、全然違うと思います。私がかつて教員をしていたときの、いろんな学級のいろんな授業の映像を、退職を機に処分しました。もったいないので最後、ちらちらと見たんですけど、やはり年代で全然違います。子供たちが鉛筆をどう持つ、おはしをどう持つ、そして、鉛筆の先が見えるように普通に字が書けるかどうか。そういうところに非常に私はこだわりました。</p> <p>それはなぜかと言ったら、小学校、中学校で違う人がどんどん指導していきます。そして中には、私も含めて、専門性が十分でない人が指導するときもあります。ですから、細かいこと、筆の名前の「こし」とか「はら」とか「じく」とか、そういうことについて、子供の指導に当たる者が、子供とともに、そういう言葉をしっかり身につけておくということは、大事だと思います。学年やクラスが変わるたびに、「はい、筆のこしのところは」とか「じくはこうこうで」とか言ってそれが通じる子、通じない子、去年の先生が使った言葉と違うと。これでは、伝統文化の書写、それから習字を教える、学ぶというところにはほど遠くなると思います。</p> <p>後は、年賀状とかはがきとか、手紙とかそういうことを重点的に段階を追って、展開をしている教科書には、非常に惹かれました。</p>

重松教育長	<p>それから、チェックのことですけれども、自己チェックが本当に習字の時間に要るかどうかなんです。習字はその日の目当てですよ、目標があつて目当てがあつて、狙いがあつて、手だてがあるんでしょ。そこもきちんと、目標概念を先生が持って授業に当たって、子供たちが学ぶと。自己チェックせずに、みんなで、今日はこのことに気をつけてできたね、よかったねって言って全員丸ですよ。そういう授業ができるのが、習字だと、書写だと私は思っています。</p> <p>それから、他者チェックもありました。隣の席の子で、隣の子ができたかどうかチェックするけど、子供同士に任せていいのかなど、そういうことをいろいろ見ました。水書用紙についても、要らなくても教科書についてくるものなのか、どうなのかなど、そういうことも少し考えました。</p> <p>さまざまな観点とか、気になるところを総合的に見た結果、光村図書と東京書籍の2者でお願いしたいと思います。</p> <p>私の方からですけども、私の方は、教材の幅を広げる、漢文や他の教科との結びつき、それから学びの方向性がきちんと示されているか。習得した知識や技能が活用できる配列になっているかということから見せていただいて、私も光村と東京書籍ということで、お願いしたいと思います。</p> <p>これですと、東京書籍が全員入ってますので、これは東京書籍ということで決定させていただきます。よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、書写については東京書籍に決定いたします。</p> <p>次に社会科の教科書の採択について、審議をお願いします。</p> <p>選定委員会の説明をお願いします。谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>社会科の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、今日的な課題についての記述や、写真や図表などの資料の見やすさや使いやすさ、問題解決的な学習ができる教材の工夫が見られるかについてを中心に、全ての観点について協議をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階を示して、問題意識を持って学習を進められるようにしたり、「学びのてびき」を適宜設けて、学習場面に応じた学び方を示したりしています。ま</p>

	<p>た、「ひろげる」「いかす」において、学んだことを活用したり探求できる発展的な学習へとつなげています。</p> <p>教育出版は、各学年の最初の単元で、学習問題のつくり方と、問題解決学習の過程の見通しを「作る、予想する、調べる、まとめる」の流れでわかりやすく示しています。また、まとめのページでは、特にポイントとなる言葉や概念を「キーワード」として提示し、学習の振り返りに役立つ工夫がされています。</p> <p>日本文教出版は、単元ごとに「学習問題」や「学習計画」が示されていて、学びを進めやすい構成となっています。児童の社会的な見方・考え方を働かせる手だてとなる「見方・考え方コーナー」では、「空間」「時間」「関係」の三つの視点をもとに、社会的な見方が身につけられるような工夫がされています。</p> <p>以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明について、質問ありませんでしょうか。</p> <p>よろしいですか。それでは、長岡委員からお願いします。</p>
長岡委員	<p>私が推進するのは、日本文教です。</p> <p>問題意識の中から子供たち自身に興味を持たせて、発展させていこうというところ、それから社会的な事象に関心をもって学習に取り組む、そういうようなところへの誘導がうまくなされていると思いました。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私の推薦させていただきたいのは、日本文教出版です。</p> <p>理由は四つあります。</p> <p>一つは、各者さんとも各単元で日本国内のあちこちの都市を題材にして、具体的な説明をされているんですけども、兵庫県内の都市を相対的に多く題材として扱っておられたのが日本文教出版さんでした。例えば神戸の医療産業都市であったり、豊岡、たつのなど兵庫県の地名がたくさん出てくると、子供たちにとっては、非常にイメージがつかみやすく、また教員の方も地元の地名があると、非常に子供たちに対して教えやすいというようなことがあると伺っております。それが一つです。併せて、3年生から5年生の間に巻末の地図があって、それぞれの地名と地図を結びつけやすいというのがありました。</p>

	<p>2点目が、私、個人的に気になったところで、憲法というものの説明の仕方です。6年生の政治の部分です。各者さんとも憲法のいわゆる三大原則、基本的人権の尊重、三権分立、平和主義については説明していますが、憲法というものの何が大事かと言われると、それは、近代国家において、なぜ憲法というものができたのかという説明になります。つまり、かつては、王権があって、それが国民の人権を適当に侵害していたのを、いやいや、それはだめでしょということで、国を縛るツールとして、憲法というものを人類は生み出したということがあります。その歴史的な経緯についての説明があったのが、日本文教出版ということでした。今、選挙中で改憲問題というのが一つの論点、争点になっておりますけれども、残念ながらこの近代的な歴史的経緯を理解しないまま、憲法をどうするかなんてことを議論しても、非常に空中戦になってしまうので、今後、世の中とか社会、政治に子供たちが関心を持つに当たって、なぜ、歴史的な経緯で憲法ができたのかというところを理解してもらうためには、この記述は必須かなと考えました。三つ目ですが、災害の単元で阪神淡路大震災をきちんと扱っているかどうかというところがあります。やはり西宮市の子供たちが学ぶ教材としては、阪神淡路大震災が扱われていないというのは、もう正直論外かなというふうに考えております。まだ、歴史の事象ではなくて、非常に生々しく語られているものなので、その点は重視したいと思います。</p> <p>4点目、非常にこれは細かい話なんですけれども、中国の地名を紹介するときに片仮名だけで済ませているか、ちゃんと漢字を付記しているかということです。我々、日本人は表意文字である漢字を使う関係で、漢字を使うと非常に頭に入りやすいということがあります。そのときに単に片仮名でシャンハイと書いているのか、それともちゃんと漢字も併記しているのかというところで、子供の理解というのは変わってくるのかなと考えております。</p> <p>これらの理由において、一番秀でていた日本文教出版を推薦させていただきたいと思っております。</p>
重松教育長	ありがとうございます。次、前川委員、お願いします。
前川委員	私も日本文教さんになります。 まず、私が一番注目したのは、生活科から社会科という新しい教科に移るにあたって、資料、グラフ、それから挿絵ですね、資料として使う挿絵、これらは授業の中で、先生や子供たちがみんなでも共有しながら、何年が一番たくさん取れ高が

多いねとか、みんなで一緒に読み解く活動ができるかどうかを注目しました。授業をするに当たって先生が意図的に右上にそのグラフがあるね、あるいは子供たちが発表するときに、この必ず使うであろうグラフを自分なりにピックアップしました。その数も日本文教は圧倒的に多いです。そして、一緒にそれを読み解くときに非常にやりとりしやすい。子供たちとのかけ合いですね、みんなで資料を読み取ることが授業の中で成立することが、非常にやりやすいと思いました。

数字で他者さんと比べたら、他者さんの小学校の3年生で2倍、あるいは3倍の量、グラフはありました。当然そこに分量を注いでいるということは、ほかのことは薄くなっているというふうにも捉えますが、私は資料活用が非常に大事だと社会の出だしの3年生では思いました。

もう一つは、自然災害です。南海トラフの巨大地震が30年間の間に60～70%の確立で起こると。70～80%だったか。これって平成10年のときに南海・東南海地震、東南海・南海地震が起こる。内閣府などが言っていました。20年前に、これから30年間に60～70%起こると。そこからもう20年たつて、いつ起こってもおかしくないんですよ。津波災害、南海巨大地震、これらのトピックというのは、やはり社会だけではだめなんですけれども、道徳とか理科とかも含めて、阪神淡路大震災の教訓も踏まえながら、やはりしっかりと西宮の子供たちが学ぶべき教材であるべきだと思っています。

4年生の置きかえ教材、選択学習として、展開することができます。西宮の子供たち、兵庫の子供たちにふさわしい学びを選択学習として、しっかりと時間を費やすことができます。非常に魅力的です。

それから後は、大仙古墳のニュースがずっと春以降続いていますけども、古墳時代の歴史の扱いについて、比べさせていただきました。ここはどこも手厚いのですが、地図帳とか、いろんなところと、これから新しいニュースやいろんなことが出てくるので、歴史学習の古墳時代は、豊かな学習ができるなど、これはどの出版者を見ても思いました。SDGsの17の目標については、西宮市は環境学習都市宣言をしている市ですので、子供たちには、文科省が言っているように、SDGsの17の目標達成、実現のためにESD教育をしっかりとやっていくという、そういう西宮教育を展開したいと思います。

以上のことから日本文教がふさわしいと思いました。

重松教育長

ありがとうございます。側垣委員。

側垣委員	<p>私も3者読ませていただきまして、私がすごく、自分自身のこだわりとして、人権、社会福祉、その他の記述ですね、そこをどういうふうに各者が書かれているのかというところを比較させていただきました。その中で、一つ、先ほどから申し上げておりますように、私は子供とのかかわりが専門の仕事ですので、そういうところから、子供の権利条約についての記述があるのかなのかというところで見せていただきました。</p> <p>それで、3者を見て見ますと、量は少ないんですけども、その記述があったのが日本文教出版でありました。</p> <p>それと人権尊重というか、そういうふうな視点です。</p> <p>それから、例えばごみ処理の課題であったり、学童保育を取り上げているとか、現代的な課題について、教科書として取り上げている。あるいは例えば、先ほどから地元、兵庫の子供、西宮市の子供という意識からいうと、地元のことに興味を持てるかというところあたりで考えて見ても、例えば、戦争中に反軍演説をした斎藤隆夫さんは、兵庫県出身の人なんですけども、その人の記述があったりというところから、3者比較して、結論でいうと日本文教出版を推薦させていただきます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、見通しを持った学習と振り返り活動が充実していること、それから兵庫の教材が取り入れられることで、子供にとってなじみがあること、また、人権尊重を基本理念として、社会の変化に応じた取り組みができるよう教材が充実していること、そういう観点から見せていただいて、私も日本文教出版ということで推薦させていただきます。</p> <p>そうしたら、全員が日本文教なので、そのまま日本文教ということで、よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、社会は日本文教出版に決定いたします。</p> <p>次に、地図の教科用図書の採択について、審議をさせていただきます。</p> <p>谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校	<p>地図の報告をさせていただきます。</p>

教科用図書選定 委員会委員長	<p>調査研究では、発行者が2者ですので、観点ごとの特徴に加えて、2者比較したときに、どのような違いがあるか、ということを中心に協議いたしました。</p> <p>また、新学習指導要領では、地図について3年生からの使用となります。その点についてどのような工夫が見られるかについても話し合いました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、他教科との関連で、道徳の学習題材に取り上げられることの多い人物について、イラストとともに地図上の関連する場所に掲載していたり、食育、家庭科との関連で、世界のいろいろな料理を紹介し、食と生活文化に目が向く工夫がされています。</p> <p>帝国書院は、土地利用の色使いが鮮明で、山地の起伏を表す陰影を用いており、地形と人々の暮らしが読み取りやすいものとなっています。また、国名だけでなく、主な都市名や首都について、英語での表記がされていることも特徴として挙げられます。以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今のこの点について、質問何かございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、それぞれの委員さん、お願いします。まず、藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私から推薦させていただきたいのは、帝国書院さんになります。</p> <p>理由としましては、まず、西宮の子たちは恐らく西宮を探すところから地図の見方は始まるのかなと考えます。そうした際に、帝国書院さんは、近畿地方の次のズームが京阪神地方というふうになっていて、西宮の名所とか名産のイラストともに、西宮が非常に見やすい位置に書かれていたということになります。</p> <p>申し訳ないんですが、東京書籍さんは、近畿地方の次のズームが大阪府とその周辺ということになっているんですけれども、ちょうどページの境目が西宮市になっていて、見にくいと。後、名所とか名産のイラストっていうのがなかったというところなんです。</p> <p>その点において、帝国書院かなというふうに考えました。後は、国名の英語表記があるということですね。英語が始まるということもありますので、その点もプラスの要素になりました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。前川委員、お願いします。</p>
前川委員	<p>私も帝国書院です。</p>

2者ともですけれども、私、地図帳をもらったらいつも消しゴムで消します。地図帳がどれだけ印刷技術が高まっているのか知りませんが、なぜ、子供たちが使う地図帳はいつも、消しゴムで消したら消えてしまうんだろう。これは、いつも非常に授業がやりにくかったです。

特に、選んでおきながら言うのはあれですけど、帝国書院さんの方は、プラスチック消しゴムに弱いです。子供たちが間違えて線を引いたり、今はカーナビの時代ですけども、昔は道路地図もらって、ドライブしたりしたら楽しかったですけど、その日帰ってきて、「こうやって行った」とか、「ここ、高速道路こうつながってるんや」とか、子供たちにとったら地図帳って宝物ですよ。こっちが予想しないようなときに地図帳を出して調べたり、家で開いてあれこれ書いたり、授業でも、じゃあみんなでマークしようとなって、間違えたときに消すんですよ。ボールペンで書いたり、マーカーを入れたりするときに、せめて、色は消えてもいいけれども、活字が消えるかなと思いました。どちらも消しゴムで消えてしまいます。活字部分が。帝国書院は、非常に消えます。プラスチック消しゴムに非常に弱いです。ですので、ここはどちらも使いにくいです。

それでなおかつ、そのハンディを負いながら帝国書院にしていることの一つには、私は先ほど藤原委員も言われたように、45ページ、46ページの近畿地方から47ページの京阪神ここについて、たまたま西宮の子たちが学ぶに非常にふさわしいこと。それから、今話題になっている大仙古墳です。ここについての表記がおもしろいですね。伝仁徳天皇陵としているのが、帝国書院ですよ。堺市に聞いたら、伝仁徳天皇陵でも大仙古墳で呼び方はいろいろ、全部が正しいというふうに言ってもらって、これはおもしろい、伝仁徳天皇陵という表記自体で、学習は盛り上がるなど。これから、いろんなニュースがきつとここに出てくると思いますね。西宮の子供たちは、大仙古墳に見学に行ったりをします。それからその近くには、江戸時代の塾、寺子屋ですね。そういう見学できるようなところもある。

後は、西宮と非常に縁が深い、そういうところもきちんと押さえてあります。例えば、西宮の姉妹都市がしっかりと、子供たちが地図帳をめくって見れるか。それから、奄美大島、ここも縁が深いですよ。なぜ、(名瀬)と、括弧ついてるんだろうとか、地図帳一つでなぞがいっぱいあって、楽しく資料を見させていただきました。

スポーケンについては、姉妹都市ですけども、「スポーケン」と、ポの後に棒線をひいているのが東京書籍。「スポケーン」と、ケの後に棒線をひいているのが帝



重松教育長	<p>国書院。これも普通の発音に従って、帝国書院の「スポケーン」で私はいいと思います。ただ、姉妹都市提携をしている、活字表記は「スポーケン」ですよね。そのところを西宮の子供たちがちゃんと理解できればいいと思いました。後は、梶原も見させてもらいました。</p> <p>少し偏った見方をしてしまったかもしれませんが、領土問題など、そういうところの学習にもどちらも非常に資料として使えますし、よい地図帳だと思いました。以上です。</p>
側垣委員	<p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p> <p>2者を見せていただきまして、結論から言いますと、私も帝国書院です。東京書籍の方は、非常に地図のデザインもスッキリしていて、とっても見やすく、紙の質もよかったです。先ほどから各委員さんのご指摘がありましたように、西宮の子供が使うということから言うと、やはり近畿地方など京阪神のページが大きく割かれているということなど、これは細かいことですが、今も前川委員がおっしゃいましたが「スポケーン」の方が正し発音だというふうに思いますので、そういう表記がされているということ。</p> <p>それからユニバーサルデザインフォント、これは両方とも配慮はされていると思うんですが、手話の記述がされているというふうなところを含めて、帝国書院、消しゴムで消えるかどうかは、私はあんまりあれなんですけれども、帝国書院のほうに選ばせていただきました。</p>
重松教育長	<p>長岡委員、お願いします。</p>
長岡委員	<p>私は、東京書籍です。理由のまず1点目は、紙質です。両方消し比べてみましたが、やはり消えない、消えにくいというのと、それから、すっきりとしたデザインで見やすかったというのが、二つを比べたときには東京書籍さんかなというふうに思いました。</p> <p>それから、自然災害のページで、西宮を阪神淡路大震災の題材で取り上げていること。それから、東京書籍さんの方は、冒頭のところで鳥観図をイラストで使っていて、地図というのは上から見るのだというような、導入の部分がとてもわかりやすく、よかったなというふうに思います。以上です。</p>

重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、3年生から使えるという、高い使用学年から配慮した配列になっていること。それから京阪神のページは、先ほど言われているように、西宮の取り扱いが使いやすい配置になっている。そういうことを考えて、帝国書院にお願いしたいと思います。</p> <p>そしたら、一応4対1ということですので、帝国書院でよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、地図は帝国書院に決定いたします。</p> <p>少し時間が延びてきていますので、理科が終わったところで、1回休憩をとりたいと思います。そうしたら次に算数をよろしくお願いします。</p> <p>谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>算数の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、知識・技能の定着とともに、「主体的・対話的で深い学び」が各者において、どのように実現できるように工夫されているかについて協議をしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、数学的活動を通じた学習展開となっており、数学的活動をわかりやすく可視化した「今日の深い学び」等によって、既習事項を生かして新たな問題を解決する力を育てる工夫がされています。また、第1学年の第1分冊については、A4判で大きく、書き込みもしやすいことも特徴です。大日本図書は、全学年、年間1冊とすることで、1年間の学習を見通すとともに、学習の振り返りをしやすくしています。各単元の1時間目を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、イラスト等を使用しながら、問題解決学習の流れを丁寧に示しています。</p> <p>学校図書は、巻頭に算数で見つきたい考え方を「考え方モンスター」として提示し、大切な数学的な見方や考え方を楽しく身につけられる工夫がされています。また、6年生では、別冊「中学校へのかけ橋」をつけ、中学校で扱う初歩的な内容に触れさせることで、中学校数学への円滑な接続を図っています。</p> <p>教育出版は、子供のふき出しの言葉で授業を展開していたり、単元まとめの4コマ漫画で大切な考え方をまとめていたり、主体的・意欲的な学習につなげる手だてが取られています。各単元の最後の活用問題については、記述式問題について</p>

<p>重松教育長</p>	<p>て、力がつけられるような工夫がされています。</p> <p>啓林館は、教科書の構成について、行間が広めに開いており、また、書き込みができるスペースが充実しています。巻末の算数資料集に「わかりやすく説明しよう・友達の考え方を聞こう」や「算数でよく使う考え方」などを設定し、意見交流のポイントや算数での思考の方法について、わかりやすくまとめられているのが特徴です。</p> <p>日本文教出版は、単元に入る前に、「次の学習のために」のページを用意しており、学習のもとになる既習事項を確かめられるようにしています。知識・技能を積み上げる工夫として、補充的内容の「しっかりチェック」と、応用的・発展的内容の「ぐっとチャレンジ」、「もっとジャンプ」に分かれた「算数マイトライ」が用意され、学力の確かな定着・習熟を図っています。以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明で何か質問ございませんか。</p> <p>よろしいですか。そしたら、前川委員、お願いします。</p>
<p>前川委員</p>	<p>2者ですね。私は東京書籍と啓林館の2者を推薦したいと思います。</p> <p>私が注目して見たのは、2年生になって算数の教科としてのおもしろさがどんどんわかってくる。一方では、あってはならないのですけれども、落ちこぼれであるのか、落ちこぼしであるのか、そういうところで算数嫌いを生んではいけないというところで、2年生の中から水のかさ、この算数的な思考がどう展開するのかを単元として見比べました。2者以外のところで、少し目についたのは、結局「かさ」って何やという、この「かさ」の概念がちゃんと押さえられずにいるのではないかという不安がある展開がありました。</p> <p>啓林館については、単元の導入のところで、元にする量ですね、これの多さが違っては、要するに違うコップで何倍分だということをしては、「かさ」を比べられないというようなことを、単元前の準備のところできちんとページを当てて、学べるようにしてあります。</p> <p>東京書籍さんの方は、導入の段階で違う量を元にするようにしては、比べることができないということが、吹き出しに書くだけではなくて、例示を学びの中で、理解できるようになっていました。同じかさを決めることで、もとにする量ってというのが、大事になってくる。それが、単位ですよねっていうふうにして、デシリットルを学ぶときにもずっと必然の展開で、水のかさの学習ができていく</p>

	<p>なと思いました。</p> <p>後は、倍の見方、これについても各者の色が出ました。長くなるので内容は省略しますが、後は円周率ですね。円周率が大学生になっても何で3.14だということが説明できない。「だって3.14で教科書に書いてあったから」、「先生が3.14と言ったから」などと言うけど、そうじゃなくて、なぜ3.14なのかということ。3じゃなくて、3.1より少し多いとかいうことを、算数的な操作によってはっきりと子供が発見して、家へ帰って、「お父さん知ってる、円周率って3と違うんだよ、3.1何ぼなんだよ、でもね、それずっと終わりが無いんだって」と家で大発見を伝えるような、そういう学びができるといいなと思いました。</p> <p>少し印象に残ったところを、具体例を挙げて言わせていただきました。</p> <p>2者でお願いします。</p>
重松教育長	ありがとうございます。側垣委員、お願いします。
側垣委員	<p>私にとって非常にこの算数の選択は難しいものがありました。</p> <p>ただ、例えばこの算数の教科書を1年生に入学して初めて手にとったときに、あ、楽しいなとか、勉強しようかな、算数っておもしろそうだなと思うような観点で子供たちが見れるかなというあたりも考えながら、見せていただきました。中身につきましては、私も専門家ではありませんので、十分なところはよくわかりませんが、その中で、東京書籍は、やはり最初に手にとる教科書の大きさですよね。こういうところはやはり細かい配慮ができています。小さな教科書だとやはり難しいかなというイメージを持ってしまうので、こういう配慮がなされているっていうところが、素敵だというように思いましたし、それからそういう観点から見ると、啓林館も何て言いますか、紙面全体の行間であったり、子供たちが書き込んでいけるか、そういうふうな辺りが配慮されているなというふうに思いました。</p> <p>どの教科書もすばらしい教科書だというふうに私は思いましたけれども、中で二つを選ぶということから言えば、今説明しました、東京書籍と啓林館を選ばせていただきます。</p>
重松教育長	ありがとうございます。長岡委員。

長岡委員	<p>私は、啓林館と東京書籍を推薦します。</p> <p>啓林館は、なぜ算数を学ぶのかというように丁寧を示されていて、算数で学んだことが、生活の中でどう生かされていくのかという記述がとても丁寧になされていました。</p> <p>それから、東京書籍の方は、単元の導入部分に復習する場面が設定されていて、知識の定着が図れるような工夫がきちんとされていたこと。それから、データなど複数の資料から考える教材が多様な形で示されている。目的に合わせて表現して結論を出すというような数学的思考というものを、そういった力をつけていける流れができ上がっていたというところです。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私としては、啓林館と学校図書2者がいいのかなと考えました。</p> <p>算数の各章だてのつくり方なんですけれども、まず問題があつて、その問題を解くというふうな形が非常に多かったんですけれども、そういうのは、そもそも算数が好きである、得意な子供というのは、そういう形でいいのかなと思うんですが、そもそも算数が何のためにあるのかわからないとか、苦手であるといった子供にとっては、とっつきにくいところができるのかなと。そうしたときに、何でこの単元を学ばなくてはいけないのかという、実生活から入るという視点を非常にわかりやすく導入してるなと思ったのが、先ほど申し上げた2者であるという印象です。</p> <p>後、もう1点。今、問題解決型の人材よりは、問題発見型の人材というふうな言われ方をすることがありますが、与えられた条件から問題をつくるというふうな作業をしている記述があるのも、特に学校図書に、そういった記述があったのが私にとっては好印象でした。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方からは、導入の部分が子供に興味関心を持てるように工夫されているか。また、毎回の学習が既習事項を振り返りながら筋道を立てて考えたり、多様に考えたりするような展開になっているか。それから、4領域がバランスよく配置されているかという点を考慮して、私の方は啓林館と学校図書という形でお願いしたいと思います。</p> <p>そうしたら、今のいきますと、全員啓林館を含みますので、啓林館という形</p>

重松教育長	<p>で決定させていただいてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご異議を認めませんので、算数は啓林館に決定いたします。</p> <p>次に、理科につきまして、谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>では、理科の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、図や表などの資料のわかりやすさ、観察や実験活動の設定を中心に協議いたしました。どの発行者も、資料のわかりやすさも含め、動画の利用など、従来のものより、一段と工夫されているという報告を受けました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、単元導入の段階で、見開き 2 ページには単元名を示さず、写真や体験から出る児童の思いから、学びをスタートできるような工夫がされていることが特徴です。また、学習内容の定着のために、単元末に「たしかめよう」では、その学習に関連する問題が豊富に設定されていました。</p> <p>大日本図書は、学んだ内容にかかわる読み物が「理科のたまたまばこ」のコーナーとして設けられており、身の回りとのつながりがわかりやすくなっていることが特徴として挙げられます。第 6 学年の維管束の観察に青色インクを使用し、多くの児童にとって見やすいような工夫がありました。</p> <p>学校図書は、単元の中だけで完結するのではなく、学んだことを次の学びや生活にもつなげ、生かすことができるように構成されていました。また、日常生活との関連を図る内容が他者と比較して、かなり多く掲載されており、児童の興味を沸き立たせる工夫がされていました。</p> <p>教育出版は、各単元、「みつける」、「自分の考えをつくる」、「自分の考えをたしかめる」という問題解決学習の流れで構成されています。「メッセージ」のコーナーでは、各分野で活躍されている方々の言葉が掲載されており、理科がどのような場面などで活かされているのかを捉えられる工夫がありました。</p> <p>啓林館は、課題提示の前に、「問題をつかもう」が入っている題材があり、子供同士の話し合いから、課題をつかみやすくする工夫がされていました。また他者と違い、二次元コードが各単元のまとめのページに掲載されており、学習内容の復習問題や参考となる情報の動画を見ることができます。以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明に質問ございますか。</p>

側垣委員	<p>いいですか。そうしたら、側垣委員、お願いします。</p> <p>理科も非常に難しい課題だったのですが、やはり子供たちが理科という教科にどう取り組むかというのは、やはり最初は、こう何かを発見したり、興味を持つところから出発すると思うんです。そこから、いろんな仮説を立てて実験をして結果を求めて、そしてそのことを理解するというふうなことが必要かなと思います。</p> <p>そういう面とそれから、具体的にどのような資料が工夫されているのかという観点で見ました。その中でもう結論から先に申し上げますと、私は一番すぐれているなと思ったのは、そういう意味では、啓林館を推薦したいと思います。</p> <p>その次に比較検討させていただきましたが、東京書籍です。こちらの方はすっきりとした紙面構成であったり、まとめとか、導入のときの自分の考えをまとめるという部分が、うまく導かれているなというふうに思いました。</p> <p>私は、啓林館と東京書籍を推薦したいというふうに思います。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。長岡委員、お願いします。</p>
長岡委員	<p>私は、啓林館と大日本図書です。</p> <p>まず、啓林館の方は、特に実験というのは、しっかり仮説を立ててそれに基づいて話し合っただけで推論していくことが重要だと思うんですが、そういった科学的な姿勢とか思考を促していくような、そういうことを重視した内容となっているという気がします。</p> <p>それから、大日本図書の方ですが、器具の使い方が教科書の最後にまとめられていて、その使い方の定着を図る工夫がなされているという点です。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私の方から 2 者推薦させていただきたいのは、啓林館と学校図書になります。</p> <p>視点は三つあります。</p> <p>まず、各者さんとも各単元で問題を発見して、実験もしくは観察をして、結果が出て、結果をもとに考察するという流れになっております。ただ、この実験の前に予想、仮説を立てるといった項目を入れてるかどうかというのは、これは会社さんによって、有無であったり、あったとしてもそのスペースに差があったと思</p>

	<p>います。その意味で、啓林館さんはその予想にスペースを十分取っているというところがあります。何のために実験するのかということ、それは、予想が正しいのかどうかを検証するためにするわけでありますから、予想という段階を踏むというのが、実験をすることの趣旨を実現することになりますので、この点を重視しました。</p> <p>二つ目の視点としては、問題発見の導入が上手か否かというところがあります。啓林館さんは、既に学習した単元をもとに次の問題発見を誘導しているというところで、非常にうまいなというふうに感じました。中には、ほとんど答えを言い替えているだけのものもあつたりしたんですけれども、その問いの立て方が上手かどうかということがありました。</p> <p>三つ目は、災害の単元で阪神淡路大震災の記述がちゃんとなされているかどうかというところがありました。やはり西宮の子供たちの教材としては、阪神淡路大震災の記述は外せないのかなというふうに考えました。</p> <p>これら三つの観点から考えたときに、申し上げた2者が加点理由で挙がってきたということになります。以上です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。前川委員。
前川委員	<p>私は、一つが大日本図書です。大日本図書については、例えば5年生の25ページ、植物の発芽と成長のところ、いんげん豆のフルサイズの写真を載せています。細々いろんなキャラクターにコメントをしゃべらせたり、つつい親切であれもこれもと欲張るんですけども、こういうダイナミックな提示によって、子供たちがいろんな気づきなど、そういうことを自由に意見に出したり、やってみたいことを伝えられたりという、これって理科の醍醐味だと思つるので、もっとそういうものがいっぱいあつて、先生や子供たちがうまく教科書を活用できるようになればなという願いも込めて、一つ紹介しました。</p> <p>もう一つは、時代が求める西宮の理科の課題として、私は、実験の安全をすごく気にしています。これは、学年の学級規模が小さくなってきてますよね、そうすると、以前は学年研究などで、理科の事前実験をしたり、事前準備をするときに、ベテランから若手までの先生がいたり、理科の得意な先生や理科が苦手な先生、これらの先生が学年集団として教材研究、教材準備、それから学習についての研究評価をやっていました。これを飛ばすようにはなつてきてはいないかという心配があります。実験で当然のように、安全について引き継がれてきていたナレッ</p>



ジの継承が、どこかでポツッと切れてる。そして、あるときとんでもないような事件、事故が起こる。こういうことがあってはならないと思っています。

その点で、理科室の使い方とか、器具の使い方、ここのところは子供と一緒に、例えば学年 2 学級の小さなところでも、若い先生と理科の苦手な先生が学年を組んでも、しっかりと教材研究をしやすい、先生のためにもなるような教科書がよいなと思いました。その点でも大日本図書さんはじめ、ほかもなかなかすぐれていました。

それから、物の燃え方のところで、E S D についての教育を非常に豊かな学習に展開することができる。それから、今どきタイムリーですけど、宇宙の勉強ではやぶさ 2 とリュウグウのこと、これもちょうどこれからは命とか宇宙のそういう学びがいろんな未来の価値を創造する時代だと私は思っていますので、そこについても非常に期待感が大きいです。

プログラミング教育は、6 年生の特にセンサーを使ったそういうプログラミングというのは、これから小学校理科では期待されているところですから、それについてもしっかりとした内容でした。

それは啓林館についても同様です。啓林館は、後は食べ物の元をたどるといふ、そういうような 6 年生の学習で動物のつながり、そこから地球環境を見るというような視点の展開が印象に残りました。6 年生では、先ほど藤原委員も言われたように特に予想の活動というのを、6 年生では重点的に扱って、それを大事にする理科学習を小学校の最上級の学年でしっかりと身につけてほしいというような、そういう教科書の扱いを感じることができました。以上です。

重松教育長

ありがとうございます。

私の方からは、子供たちに予想を立てさせて、そこから問題解決につなげる、それから子供の学びに連続性を持たせるということが大切だと考えます。その意味では、それに適した教科書でなければと思います。さらに、理科においてはプログラミング教育がこれから必要になりますので、その思考手順を示す必要があり、その点の工夫がなされていることも重要だと考えます。そういう観点から、啓林館と学校図書の二つを推薦させていただきます。

そしたら、全て啓林館が入ってますので、啓林館という形でよろしいですか。

(異議なし)

重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、理科は啓林館に決定いたします。</p> <p>2 時間以上にわたっていますので、ここで 10 分間休憩させていただきます。</p> <p>(休憩)</p>
重松教育長	<p>時間になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>次に、生活の教科用図書の採択について、審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いします。谷口選定委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>では、生活の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、各出版者に共通している題材の中でも、町探検についてや植物の栽培についての活動例、自分の住む地域の良さに目を向ける工夫などを中心に協議いたしました。また、教科書に掲載されているワークシートの部分についても話題になりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、単元の冒頭に目標をイラストや写真、吹き出しなどで示しており、子供が学習の見通しを持てるようになっています。</p> <p>「ほんとうのおおきさポケット図鑑」が上巻の巻末についており、切り離して、屋外活動に携行できるようにしている工夫もあります。</p> <p>大日本図書は、ページの端に「きらきらことば」「せいかつことば」など、実際に活動をする中で使われる言葉をまとめた項目があり、話すことなどの活動に取り組みやすい工夫がされています。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、切り方やひもの結び方など、さまざまな学習資料が掲載されています。</p> <p>学校図書は、1 年生でのあさがおの栽培での活動から得た経験をもとに、別の植物の栽培において、「前が生かせる」「前とはちがう」など、学びの見通しをもちながら問題解決を図ることができる工夫がありました。文章量をできるだけ少なく、写真等を多く載せることで、発達段階を踏まえた紙面構成になっていました。</p> <p>教育出版は、単元末の振り返りの活動が、「まんぞくはしご」という見える形で示されていることから、自分の成長が視覚的にわかる工夫がされていました。また、自然の不思議さやおもしろさについて、クイズ形式にして提示している部分が、特徴として挙げられます。</p> <p>光村図書は、児童の「安心」「自信」「好奇心」を軸に、それぞれの活動を幼児教育や他教科などとの関連を踏まえた構成となっています。「こまったときには、みんなでそうだん」として、友達や地域の人と対話し、課題解決に向かっていくこ</p>

	<p>とができる工夫がされています。</p> <p>啓林館は、「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」と、3段階の違うねらいを持って単元を構成しています。また、「見方・考え方」の視点を例示することで、児童が既に持っている「見方・考え方」が、しっかり発揮できるような工夫がされていました。</p> <p>日本文教出版は、学習課題を明確に示し、学習に必要な技能や知識などを詳しく説明しているため、児童に気づかせたいことがはっきりわかる構成となっています。また、点字が実際に体験できる工夫がされており、障害のある人への理解を促す工夫がされていることも特徴として挙げられます。以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明で何か質問することがありますか。</p> <p>よろしいですか。そうしたら、生活につきまして、長岡委員からお願いします。</p>
長岡委員	<p>私は、東京書籍と学校図書を推薦します。</p> <p>いずれの出版者さんもたくさんの写真を使用されて、子供の生き生きとした表情の写真がたくさん掲載されていたんですが、二つの出版者に共通していることは、使用されている写真の多くが活動の具体的な姿をあらわしていて、自分自身に置きかえたときに活動の具体的なイメージが持ちやすい、そういった工夫がなされていたということです。</p> <p>もう一つは、成長を自覚できて、それからその中で自己肯定感を培っていけるようなことが可能になるような内容となっていた点です。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございました。藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私の方から推薦したいのは、東京書籍と日本文教出版の2者さんになります。</p> <p>この生活科というのは、理科とか社会に入る前のワンクッションという位置づけであるというふうに理解しています。そうしたときに、子供たちが自然の事象や社会の事柄に対して、子供の目線なりに、次に科学としてそれらを捉えていく前提としての科目というふうに理解しております。</p> <p>そうしたときに、各者さん非常に写真とかイラストを充実して、すごくわくわくするような内容にしてくださっているんですけども、私がこだわったというか、大事にすべきだなと考えたのは、いかにその子供の視線、視線というか目の高さにかかわっているかということです。</p>

重松教育長	<p>子供たちが楽しそうにしている写真であった場合、先ほど長岡委員もおっしゃったような、その活動の具体的内容をイメージしやすいという点において、メリットはあるかと思うんですけど、一方で子供がどういう目線で、自然ならば例えば植物なり小動物、社会なら大人を見ているかという点で考えたときに、その視線、目の高さのほうを私は大事にした方がいいのかなというふうに考えました。</p> <p>そうしたときに、その目の高さという点で、優れていたのが先ほど申し上げた2者ということになります。</p> <p>後は、イラストなど出てくる子供の写真などで、人種的多様性について、配慮されているところと、その点がいまいちだったところなどもあったんですけども、ご指摘した2者は、その人種的多様性の配慮という点でも、プラスになっていたというふうに考えます。以上です。</p> <p>ありがとうございます。前川委員、お願いします。</p>
前川委員	<p>私は、教育出版と東京書籍です。</p> <p>まず、生活科で植物の写真、飼育は少ないですけども、植物の写真は学校内をフィールドとして、子供たちや先生たちで素材を共有できますね。植物についての写真の数を数えました。次、その写真を実物と名前が一致するのか、しそうかどうか、私なりの感覚で小学校の低学年の子供たちの感覚で見たときには、教育出版と東京書籍が非常に多かったです。実は一番多かったのは、光村でした。ですが他のこともあったので、さっきの2者で。</p> <p>植物の写真の名前を覚えると子供って、すごくそこから豊かな発想とか、活動が展開していきます。子供が私のところに来て、「先生、きょうね、学校でね、かしわ餅のにおいのする木を見つけてん」ってうれしそうに言ってきたことがあるんですよ。かしわ餅の香りのする木があるって、すごい発見です。これ、こういうことが僕は生活科の一番の狙うところだと思っているんです。要するに、自分から働きかける意欲、これが豊かな理科や社会につながります。そのためには、身近でみんなが共有できるところにある素材について、全部は無理かもしれないけど、理科みたいに名前を覚えるんじゃなくて、いろんな名前を共有して伝え合える、友達としゃべり合える、これはすごく大事なことだと思います。植物の写真と名前、これがふだんの生活の中に生きるかどうかです。これを見ました。</p> <p>それから、自然などに働きかけることをもって生活科としなければいけないと思いますので、危険な動物とか植物について、触ってはいけないとか、これについ</p>

	<p>では、3年からの理科を待つのではなく、生活科のしかも上巻でしっかりと押さえないといけません。広田神社にみんなで行こうとか、どこそこへ行って虫を探そうって言ったときに、3年では遅いです。1年からしっかりとそういうものがあるということを、そして例えば、セアカゴケグモとか、漆のこととかについて、「それは触ったら怖いよ、危ないよ」ではなくて、そういう虫もいるという事実でもってしっかりと、生活科の活動に取り組んでほしいなと思いました。</p> <p>後は、他者ですが教育出版、他者のことを言わなくてもいいのですが、でも、花について、「きれいに咲いてるね、ありがとう」っていうふうにしてる単元がストーリーになっているところが、すごい素敵だなと思ってそれだけ一言、言わせてください。以上です。</p>
重松教育長	では、側垣委員、お願いします。
側垣委員	<p>生活は例えば、保育園や幼稚園で学んできた、経験してきたことを、学校に来て初めていろんな意味で、自分たちの経験が活かせる科目だというふうに思います。それが小学校に来て「これは一緒に、今までやったことあるよ」っていうふうなことが、幼児教育からのつながりとして、学校で受けとめてもらう大切な科目だというふうに私は捉えて、いかにつながりというものを大切にしているかなという視点をもって、各社の教科書を見せていただきました。</p> <p>もう一つは、やはり写真やイラストの扱いなんですけど、写真が多過ぎると何かごちゃごちゃ感と、それからもう写真のイメージが固定してしまう。自分自身のイメージが開けないっていうふうな部分もあります。</p> <p>そういう点から見ると、私は、東京書籍と光村図書を推薦させていただきたい。光村のほうは、やはりつながりというところを意識して、ずっと将来に向けての接続を大切にしているということと、写真よりイラストのほうが多いので、そういう部分で子供たちとイメージを膨らませることができるのかなということ。写真も、実際の植物名がはっきりと大きくて見やすいというふうな部分がいいところかなというふうに思いました。</p> <p>私はその2者を推薦させていただきたいなと思います。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、学習への動機づけが工夫されているか、また使われている写真、それから挿入されている絵や図がわかりやすく、しかもポイントを得たもの</p>

	<p>になっているか、さらに発展、応用的な内容に工夫があるか、併せて子供の日常生活からの導入ができる単元になっているか等を考慮して、東京書籍と啓林館という形で推薦させていただきます。</p> <p>以上の結果から、全員が東京書籍ですので、東京書籍ということで、決定をさせていただきます。よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、生活は東京書籍に決定いたします。</p> <p>次に、音楽について、谷口選定委員会委員長、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>音楽の報告をさせていただきます。</p> <p>2者ですが、両出版者において、歌唱や器楽、鑑賞の取り扱いについて話題となりました。また、知識・技能の定着の手だてについて、学習した内容をいかに定着させるかについて工夫されている点も調査しております。</p> <p>各発行者の特徴ですが、教育出版は、音楽の基礎・基本的な内容について、学年を超えて繰り返し学習できるようにしたり、子供が聴き取ったことや感じ取ったことを言葉であらわすなどの「言語活動」を取り入れたり、音楽の目標を達成するためのさまざまな手だてが取られています。</p> <p>教育芸術社は、各学年の発達段階に応じた新しい曲や、日本の四季に合った教材も多く取り上げられており、児童にとって、親しみやすい構成となっています。</p> <p>教科書には、英語の歌も紹介されており、モジュールの時間などにも活動ができる工夫がされていました。以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明で何か質問ございますか。</p> <p>よろしいですか。そうしたら、藤原委員から、よろしくをお願いします。</p>
藤原委員	<p>私が推薦させていただきたいのは、教育出版の方になります。</p> <p>理由はいろいろありますが、3点あります。</p> <p>まず1点は、西宮の子供たちが学ぶものとして、教育出版は佐渡裕さんとスーパーキッズオーケストラについて触れられているというところがあります。やはり西宮から世界に対して有名になっておられる方なので、この点を触れておられるというのが加点理由になります。</p>

	<p>二つ目としては、6年生でアドリブづくりっていう項目がありました。音楽が嫌いになる子供、特に例えばピアノとか楽器を習っていても嫌いになる子供の傾向として、楽譜に書かれたことを再現するという作業が嫌になるっていうところがあるというふうに聞いております。そうしたときに、楽譜というのは、あくまでも目安であって、そこをどんどんはみ出て表現するっていう楽しみ方を教えるというのは、音楽に対する楽しみ方、興味を継続的に持たせるためには非常に有益であるというふうに考えました。</p> <p>3点目が、いずれも巻末に当然「君が代」を載せておられるんですが、その「君が代」に付された説明文に差がありました。「君が代」を子供たちに教える趣旨っていうのは、我が国を大事にする心を育てるところにあるんだと思うんですが、それは他国を尊重するという心を同時に養ってこそ、健全な我が国を尊重する精神の涵養になると考えます。そうした際に、教育出版の方は、小学校1年生から他国を尊重すべき旨というのを一貫して書いておられると。もう一方は、書いておられるんですが、それが5年生になって登場するというところがありますので、その徹底の仕方という点で、この点も理由の一つとして挙げさせていただきました。以上です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。前川委員、お願いします。
前川委員	<p>私の方は観点として、一つは、国歌「君が代」の扱いです。歌詞の大意です。これについて、しっかりと説明ができていかなどそういうところを、比べさせていただきました。</p> <p>二つ目です。西宮市は文化振興のシティーメッセージとして、「音楽と出会うまち西宮」を掲げていると思っています。おなかの中に赤ちゃんがいるときから、おなかの中の赤ちゃんのためのコンサートをアミティホールでやっています。私の娘のおなかの中にいる孫と一緒に、そのコンサートに行ったことがあります。感動的でしたね。ヴァイオリニストがヴァイオリンを弾いている、その横に椅子がもう一つあって、そのヴァイオリンのお母さんのお嬢さんが横に座ってるんですよ。ステージの上で。演奏者にもお子さんがいて、そのお子さんは、横でお母さんが演奏しているのをうれしそうか、緊張してるか、それをまたたくさん小さいお子さんが、時にぐずったりしながら、それでもみんなで音楽と出会うコンサートができる。そのコンサートに行くときに、そのコンサートのためにお子さん連れがいっぱいアミティへ行くんです。私はその方々の話を聞いていると、本当</p>

	<p>に西宮の文化振興は素晴らしいなと思います。みんな喜んで、「こんなコンサートがあるんや、来年も行こうね」とか、もう早速、家族で話をしてるんです。</p> <p>私ね、西宮は和太鼓フェスティバルが年々盛んになってきていて参加者が多い、そして先生たちの中にも和太鼓の演奏者がいる。それから、後はマーチングバンド、これについても全国大会に出るような学校がいて、そして、ジャズバンドも部活動の中でありますよね。ジャズやジャズとクラシックの出会い、こういうようなことを紹介している教育出版、それから先ほど言われた佐渡裕さんのこととか、そういうような扱いをさまざま見るにつけて、私も教育出版の方が西宮の子供たちには、ふさわしいのではないかなと、非常に楽しく見させていただきました。以上です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。側垣委員、お願いします。
側垣委員	<p>私は、どちらの教科書も素晴らしいなと思って、読ませていただきました。</p> <p>教育芸術社の方は、何か教科書を見て音楽って楽しいんだなっていうふうな雰囲気とか、さまざまなバリエーションの工夫であったり、写真をうまく使ってわかりやすい表現をされていました。それから日本の歌を結構たくさん使っておられたように思います。</p> <p>教育出版の方は先ほど、藤原委員がおっしゃいましたように、やはり佐渡さんのことであったり、スーパーキッズオーケストラであったり、それから兵庫県出身の三木露風であったり、そういうふうな地元題材を使っているということ、やはりそれは音楽に興味を持つために非常に大きなことだというふうに思いますし、学習の仕方が、いわゆる繰り返し学習であったり、教科書全体が非常にすっきりして、わかりやすく見やすくできていると思います。</p> <p>自分がもし、その教科書をもらったとしたら、どちらのほうを使いやすいかなということと、中身を考えてみると、例えばここにもありましたように、1年生が最初に出会う鍵盤ハーモニカなんですが、非常にわかりやすく説明されていました。そういうところからも、私も教育出版の方の教科書を推薦したいなというふうに思います。</p>
重松教育長	長岡委員、お願いします。
長岡委員	私も教育出版を推薦させていただきます。



<p>重松教育長</p>	<p>理由は二つです。先ほどから委員がおっしゃっていたように、西宮に関連する音楽家の方ですとか、それから地元の題材を記載されていることで、親近感を持つとともに、音楽への関心を高める一つの要因になっているというふうに思います。それからもう一つは、楽譜についての理解、それからリコーダーの指づかいなどを、透明シートを使って表現していて、子供たちにとっては、とても興味を引くユニークな持って行き方ではないかなというふうに感じました。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、子供が音楽に取り組むときのリズム遊びや歌唱、それから器楽演奏等、新しい材料が入ってますし、また分量、それから知識・技能の習得に工夫が見られる。しかも継続的に学習に取り組んだ構成になっているということから、教育出版です。</p> <p>全員が教育出版ということですので、これで採択させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>重松教育長</p>	<p>ご異議を認めませんので、音楽は教育出版に決定いたします。</p> <p>次に、図画工作をお願いします。</p>
<p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p>	<p>図画工作の報告をさせていただきます。</p> <p>今後、西宮の子供たちにより一層育てていきたい能力について、を念頭に、教科書に掲載されている子供たちの心を動かす作品や、作品を作ったり、お互いの作品のよさについて話し合ったりする学習活動について調査をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、開隆堂出版は、全学年を通して、学習の目当てをキャラクターとともに載せており、わかりやすくなるような工夫が見られました。また、巻末の「ぞうけいの引き出し」の項目では、用具、技法、材料について写真とともに使い方が丁寧に説明されています。</p> <p>日本文教出版は、見開き1題材で、大き目の写真や図版、吹き出しを用いて、視覚的に題材や制作手順が理解できるように工夫されていました。また、掲載写真に、つくっている手元のものや、つくっている子供の写真が多く、創作意欲を高めることにつながることを期待できます。以上でございます。</p>

重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明に何か質問ございますか。 よろしいですか。そうしたら、前川委員、お願いします。</p>
前川委員	<p>私は、日本文教さんの方を推薦させていただきます。 写真のことについて今も話が出たんですけども、2者でしたので、写真を私、全部ピックアップして枚数を数えたり、大きさを数えたり、中に写っている被写体も種類分けしました。 子供の表情が写っている写真が多過ぎるのはいかがかなと思いました。芸術・美術というのは、その作品の中に子供たちをひきつけるものがあるべきだと。小学生の子といえども、なめてはいけません。美術館に行くと、自分より大きな作品の前に何分もずっと立って、引き込まれるようなことがあります。要するに、子供たちが写り過ぎなのは、僕はよくないと思いました。子供たちは、あの笑顔というのは教室の中で展開されるべきであって、もっと言えば教科書の中にある笑顔は要らない。作品を見ている子供たちは先生と一緒にやりとりして、それから先生がとっておきの作品の素材を子供たちに提示する。その空間の中に笑顔はあるべきだと私は思っています。それは、大きく2者を私の中では分けました。 それから、図工については、図工専科が入らない低学年のときから、いろいろと道具を使ったり使わせたりするわけですので、そこについては、2者とも非常に丁寧な道具についての資料があったので感心をしました。 後は、目当てがはっきりしている。具体例を挙げると、1、2年生の上巻の12ページ、「みなで教室をかざろう」というようなところとか、ここも日本文教さん、何て言うかはっきりと単元が展開していて授業がやりやすいなと思いました。授業がやりやすいというのは、簡単ではなくて、先生の裁量や子供たちの実態とか、意欲とか、そこに合わせていろんなことを工夫したり、創造したりできる余裕のある図工教育が展開できる。そういうふうに私は思っていますので、余り写真が多過ぎるのはいかがかなとそんな思いです。以上です。</p>
重松教育長	<p>側垣委員、お願いします。</p>
側垣委員	<p>私も文教出版の方を推薦したいと思います。 その理由は、やはり今、前川委員もおっしゃったことと同感なんですけど、子供たちの写真が多いと、イメージを固定化してしまうということ。それで、文教出版の報告にある、「感じるためつくり出す」という、やはりこれが図画工作の醍醐味</p>

重松教育長	<p>だと思えますし、それから、もう一つは、このつながり、幼児期に幼児教育の中で経験したことを、学校に行っても、こんなことができるんだっていう、そういうふうな気持ちにさせるような教科書づくりというか、そういうものが見られたので、私は文教出版の方を推薦したいと思います。</p>
長岡委員	<p>ありがとうございます。長岡委員、お願いします。</p> <p>私も日本文教です。</p> <p>私も写真をどの観点で見るかっていうところで、2者を比べたんですが、作品を見ている姿とか、それから作品を作成するときの題材に対する子供の写り方を見ると、日本文教さんの方は、例えば子供が寝そべって見ていたり、近づいて見てみたり、こう遠くから見てみたり、それから触るときも手だけで触って見たり、あるいは抱きついてみたりっていうような、そういった、作品を見たり、それから作品を制作するときの題材へのかかわり方っていうのが、写真でうまく表現されていて、子供たちが作品を見たり、つくったりするときのイメージがわかりやすいというふうに思いました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私も、推薦させていただきたいのは、日本文教出版になります。</p> <p>理由は2点ほどあります。</p> <p>1点は、皆さんご指摘のとおり子供の写真、スナップ的な写真が多いのか、作品例の写真が多いのかっていう点が、一つありました。子供のスナップ的な写真っていうのは、大人の我々が見るとそれだけで結構楽し気に見えるんですけども、図画工作の教科書としては、やはり作品例が多いということが求められるのかなというふうに考えます。</p> <p>もう1点は、道具の使い方という説明で、より丁寧なのかなと考えました。図画工作の話っていうのは、大人になってからもう一回再開する人も多い。もう一回、絵を習う人とかもたくさんいらっしゃるんで、子供のときに一度道具の使い方というのをしっかり覚えておくということが、その先の人生において役立つと考えますので、その点も重視しました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>私の方ですけども、作品をつくる際のヒントになるようなものとともに、その作品を作成する手順、技術、あるいは道具の使い方等が、教科書を見ることでよくわかり、教師の指示と合わせて子供たちが主体的に作品をつくり上げることができる工夫ができていくかという観点から見て、皆さんと同じように日本文教出版かなということ、日本文教出版を推薦させていただきます。</p> <p>以上の観点から、全員が日本文教ですので、これで採択させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、図画工作は日本文教出版に決定いたします。</p> <p>次に、家庭科について、よろしくをお願いします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>家庭科の報告をさせていただきます。</p> <p>家庭科の教科書では、掲載されている写真や話題が、子供たちの理解と動機づけにおいて重要な要素であり、この点について両者を比較して調査いたしました。</p> <p>また、学習したことを実際の生活場面において、どのように生かすことができるかについても話題となりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、学習したことを生かして、家庭や地域の生活の課題解決のための実践を「生活を変えるチャンス！」として、長期休業等の時期を生かした実践ができるような工夫がされていました。中学校での消費者教育の素地づくりとして、インターネットでの取引について記載があったのも特徴的な部分です。</p> <p>開隆堂出版は、5年から6年へと、簡単なものから繰り返し積み上げていく単元構成となっています。特に、5年の最初の調理では、スモールステップでくり返し学習をしながら、基礎基本の定着が図れるようになっていきます。また、それぞれのページにあるQRコードからは、タブレットを使用すれば、作業の工程などを間近で見ることができるようになっていました。以上でございます。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明で何か質問ございますか。</p> <p>よろしいですか。そうしたら、側垣委員からお願いします。</p>
側垣委員	<p>これも2者の比較になるのですが、非常にこれも難しい、両者とも非常に工夫さ</p>

	<p>れた教科書になっています。</p> <p>東京書籍の方は、細かい実践とか知識・技能に対する細かい説明であったり、繰り返しだったり、実際に子供たちが経験すること、家庭の中で実施できるような取り組みを提案しているというか、学ぶことができるし、開隆堂出版の方も同じような部分もありますし、いろんなことを簡単なものから、繰り返し積み上げていくというふうな手だてが準備されていたり、それから自分でチャレンジしていくというふうな家庭での実践というふうなコーナーもあります。巻末の用語集なども使いやすいかなというふうな印象を持ちました。</p> <p>非常にどちらがいいかということを考えるのは悩んだのですが、いろんな面で、例えば、どなたかから指摘があるかと思えますけれども、安全についてなどの細かいところへの配慮、そういうものが準備されているというところから、私は開隆堂出版の方を推薦させていただきたいというふうに思います。</p>
重松教育長	ありがとうございます。長岡委員、お願いします。
長岡委員	<p>私も開隆堂さんを推薦させていただきます。</p> <p>どちらも本当に、読んでいていい教科書だったんですが、まずは、実技を伴う科目ですので、この教科書のサイズから言って、こちらがいいのではないかというのが1点目です。それから、巻末のいろんな用語集もとてもユニークでしたし、道具や用具等の紹介が丁寧であったこと。</p> <p>それから、私も実は左ききなんですけれども、左きき用のはさみの使い方や、糸や針の使い方っていうようなのが載っていたという点から、開隆堂さんを推薦します。以上です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。藤原委員、お願いします。
藤原委員	<p>私は、東京書籍さんの方を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>家庭科っていうのは、数少ない、という用語弊があるんですけども、学校で習ったことが実生活で、大人になってもダイレクトに役に立つ科目というふうに思います。学校で習ったことをすぐ家で再現できて、うちの子なんかでも学校で習ったっていうことで、すぐに家で料理をつくったりしておりますので、再現性というものが非常にあります。そういう観点で考えると、いかに実践的かという視点で私は、見させていただきました。</p>

重松教育長	<p>そうしたときに、いずれの教科書も非常に実践的ですぐに使えるような内容にしてください。正直優劣がつけにくかったというところがあります。</p> <p>ただ、東京書籍さんの巻末資料において、針の使い方であるとか、包丁の使い方であるとかいうようなところで、まとめを設けておられて、その点において家庭での再現を容易にしているという印象を受けましたので、私はこちらを推薦させていただくことにしました。</p>
前川委員	<p>ありがとうございます。前川委員、お願いします。</p> <p>私は、東京書籍を推薦させていただきます。</p> <p>それは、「プロに聞く」とか、「くらしきりり」とか、このようなトピックを扱っているところが、単におもしろいトピックではなくて、学びを広めたり、深めたりとか、そういうヒントになるようなものとして、提示してあるなと思いました。</p> <p>もう一つは、ミシンのことです。ミシンというのは、ミシンを置いたテーブルごとに先生が、そのグループの子供たちに、丁寧に指導したりすることはできますが、グループを順番に先生が回っていくと、残りのグループに先生が付けない、そういうような場面があります。ですので、全体で指導したり、グループで指導したり、そして資料をもとにして子供たちが自分でひも解いたときに、ミシンの操作に役立つような大きな図、これはやはり教科書で必要だと思っています。その点では、東京書籍さんが巻末の資料なども含めてミシンが丁寧に、拡大図などそういうような形で、扱いやすいなと思いました。</p> <p>それから、もう一つは、消費者教育にかかわるようなところですけども、物とかお金の使い方という单元の中で、持続可能な暮らし方、ここに焦点化して、ステップごとに目当てを設定して、その单元を展開しているというのは、非常に私はすばらしいなと思いました。持続可能な社会、持続可能な暮らし、そういうものと家庭科がしっかりとつながっているよっていうようなところは、よい学習の展開になると期待を込めて、選ばせていただきました。東京書籍です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、ほとんどもう差がない。というか、2年間学習を通して系統的でしかも簡単なものから難しいものへと学習が段階的に配列されてるという点から見ると、ほとんど変わりがない感じですけども、安全な実施ができる工夫とか、基礎・基本的なところの内容が定着できるように工夫してあるかということ</p>

<p>重松教育長</p>	<p>を考慮して、東京書籍の方を推薦させていただきます。以上です。</p> <p>そうしたら、東京書籍が3人、開隆堂が2人ですので、東京書籍という形で最終的に決めさせていただいてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご異議を認めませんので、家庭科は東京書籍に決定いたします。</p> <p>次に、保健、よろしくをお願いします。</p>
<p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p>	<p>保健の報告をさせていただきます。</p> <p>教科書で学んだことを知識にとどまるだけで終わらず、自分自身の生活を振り返るとともに、これからの生活に結びつけていくことが大切と考え、自分の成長や健康に関心に向けさせるための効果的な手だてについて調査いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、1項目を4ページで構成し、ワークシートを使用しなくても教科書のみで学習できるようになっております。そのため、ページ数が他者より多くなっています。他の教科とのつながりが明記されており、教科横断的な学習に取り組みやすくなっていることも特徴として挙げられます。</p> <p>大日本図書は、授業ごとの目標がタイトルとともに明示されており、何を学習するのかがわかりやすくなっています。また、ページの下段の部分にミニ知識が掲載されており、児童へのアドバイスや知っておいてほしいことが短い言葉で書かれています。</p> <p>文教社は、学校現場での実態や実践を踏まえ、学習を子供の側から捉え、内容を構成しています。学習活動の最後には自分の考えや感じたことを「〇〇宣言」と題して、文章でまとめられるようになっており、それを交流できるような工夫が見られました。</p> <p>光文書院は、話し合いができる場面を多く取り入れ、多くの児童と意見を交流することで、学習課題に迫れるような工夫が見られました。</p> <p>また、インターネットの正しい使い方や犯罪被害の例、有名スポーツ選手のインタビューやスポーツ障害についてなど、児童に身近な話題を多く取り上げている特徴もありました。</p> <p>学研教育みらいは、1時間の授業の中で、課題をつかみ、資料を読み取り、よりよい解決方法を考えることができる構成となっています。また、単元ごとに「もっと知りたい、調べたい」が設定されており、児童の関心に応じて学習を深める</p>

重松教育長	<p>ことができるような工夫が見られました。以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明で何か質問ございますか。</p> <p>よろしいですか。そうしたら、長岡委員からお願いします。</p>
長岡委員	<p>私は学研教育みらいと東京書籍を推薦させていただきます。</p> <p>学研教育みらいの方は、発育発達や、健康などについてグラフや写真といった資料が豊富に掲載されている点です。</p> <p>それから、今の自分を把握するという事は大事だと思うんですが、そういった疑問とか不安を、もちろん自分自身のこととしては考えるんですが、一歩間を開けて他者の目線であったり、客観的に捉えられるような、そういった工夫がされているところがよいと思いました。それから、ストレスマネジメントに関連するような記述が丁寧にされているということです。</p> <p>東京書籍の方は、個人差への配慮が非常によくできているというふうに思いました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p>
藤原委員	<p>私から推薦させていただきたいのは、学研教育みらいと東京書籍さんの2者になります。</p> <p>注目した単元は二つありました。</p> <p>一つはメンタルヘルスの部分です。子供たちのメンタルヘルスの維持というのが、今すごく問題となっております。子供たちが大きくなって、大人になったこの先の社会においてもやはり、今の私たち大人と同様、メンタルヘルスの維持というのが大きな問題になると思います。そうしたときに、学研の教科書は、その点にウエートを置かれて、さらに実践的な内容になっているという点で、非常にいいものだと思います。</p> <p>もう1点、気になった単元は、喫煙の害というところになります。喫煙が害だっているのは、当然のことなんですけれども、今後の社会を考えると健康維持のみならず、社会的信用を維持するという意味でも、喫煙をしない方がいいという価値判断が働いて来ると考えます。そうした際に、学研さんは、問いかけの仕方として、大人になっても喫煙しない理由を考えましょう、しない方がいい理由を考</p>



重松教育長	<p>えましようという問いかけがありました。他者さんにおいて、子供はなぜ喫煙してはダメなのかっていう問題提起があって、あたかも大人になったら吸っていいかのような書き方のところもあったんですけども、この点、一歩進んだ点があったと思います。</p> <p>後は、災害の項目で阪神淡路大震災に触れておられないところがあったのは、少し残念でした。触れているという点で、学研さんと東京書籍さんを推薦させていただきたいと思います。</p>
前川委員	<p>ありがとうございます。そうしたら、前川委員、お願いします。</p> <p>私は、学研と光文書院の2者を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>どちらについても、喫煙、飲酒、薬物乱用、これらについては、光文書院さんの方は、見開きページごとにまとまりがある、理解しやすいような展開をしてある、ライフスキル教育にもつながるような、しっかりとした内容、展開であると思いました。</p> <p>学研さんについては、先ほど藤原委員もお話をされたようなところもあります。どちらも充実していた内容でした。</p> <p>災害についてのところも、やはり阪神淡路大震災で培ったその教訓なり、そういうふうなことはしっかりと保健学習の中でも展開できればなと思いました。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p>
側垣委員	<p>私も、学研教育みらいと東京書籍を推薦させていただきます。</p> <p>学研につきましては、先ほど長岡委員もおっしゃいましたが、非常にわかりやすい資料と、表現の工夫がされているなというふうに思いました。</p> <p>それと、そのメンタルヘルスの部分でも、丁寧な説明あるいは自分自身に結びつけるような構成というか、そういうものが十分に配慮されているのではないかなというふうに思いますし、教科書全体がわかりやすく、すっきりとした表現で、子供たちが教科書で学びたいという気持ちを持てるようなものになっているかなと思います。</p> <p>それから、東京書籍のほうもやはりメンタルヘルスの部分あるいは、自分自身で抱え込まないように、そういうふうな理解と、それからそれぞれの人間の違い、個別、ここに対する配慮がなされているということと、わかりやすい表現、それ</p>

重松教育長	<p>からキャラクターとか、そういうものを見ながら、見やすい理解しやすい紙面になっているかなというふうに思います。</p> <p>それともう一つ、先ほど前川委員もおっしゃいましたが、災害に対する記述ですね、阪神淡路大震災を経験した私たちにとっては、やはりそこは外せない部分があると思いますので、そういう記載があったということも含めて、学研と東京書籍を選ばせていただきました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私の方ですけども、体とともに心の課題にどう対応しているか。また日常生活の中で自分で課題解決ができる手だてが示されているか。さらに保健で学んだことを応用、発展させることが工夫されているかななどを考慮して、学研教育みらいと東書を推薦させていただきます。</p> <p>そうしたら、学研が全員で、東京書籍は4人ということですので、学研教育みらいということで、採択させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、保健は学研教育みらいに決定いたします。</p> <p>そうしたら、次に、外国語の英語、よろしくお願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>英語の報告をさせていただきます。</p> <p>新たに教科としてスタートするに当たって、関心もかなり高いと考えます。</p> <p>調査においては、教科書で子供たちにどのような活動を提供できるのか、また4技能5領域について、どのような力を育むことができるのかということを中心に話し合いを進めてきました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、単元末の「エンジョイコミュニケーション」では、例文や説明を丁寧に掲載することで、児童がこれまでに学んだ語彙や表現を使って自信をもって会話ができるような工夫がされています。また、単元の最後には日本から見た世界と、世界から見た日本をさまざまな観点から紹介しています。</p> <p>開隆堂出版は、チャンツやゲームで活動に慣れ親しむ活動を数多く設定していることが特徴です。また、「プロジェクト」では、児童が自己紹介をしたり、クイズやゲームの方法を説明するなど、それまでの単元で身につけた力を、友達の前で</p>

	<p>交流できるような工夫がされています。</p> <p>学校図書は、教科書の冒頭に、英語が使用されているシーンや職業などが示されており、児童が英語を使う姿がイメージできるように工夫されています。また、「ユーズ&amp;チェック」では、見本をもとに、単元で学んだ語彙や表現を使って、友達とコミュニケーションができるようになっています。</p> <p>三省堂は、単元において、「ホップ・ステップ・ジャンプ」に分かれており、「ホップ」では、児童がゴールでの活動に取り組むための目的を記入することで、より意欲的に活動に取り組めるような構成となっています。巻末では、外来語や英語が話されている国についての紹介があり、児童がより英語に興味を持つ内容となっていました。</p> <p>教育出版は、単元ごとに設定されている「ファイナルアクティビティ」において、既習事項を使って児童同士が会話のやりとりをしたり、自己表現としてスピーチができるような構成となっています。「ルックアットザワールド」では外国の生活や文化などについて紹介されており、児童にとって興味深い内容となっています。光村図書は、各単元が、紹介、伝える、尋ね合う、受け答えをするという流れになっており、言語活動に配慮された構成となっています。また、「ファンタイム」では、他教科とのつながりのある活動が、教科名を明示された上で設定されていて、教科横断的な内容となっています。</p> <p>啓林館は、自己紹介など自分のことを表現する力から、他者紹介など少しずつ広い世界に目を向けて活動ができるような構成となっています。単元末の「ルッキングバック」では、項目ごとにできた・できなかったという自己評価をした上で、次の学習への展望などが記入できるような工夫がされています。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明の中で何か質問ございますか。</p> <p>よろしいですか。そうしたら、藤原委員からお願いします。</p>
藤原委員	<p>私から推薦させていただきたいのは、三省堂と開隆堂さんの2者になります。</p> <p>私たちがイメージする英語の教科書というと、まず文法から入るものというふうなイメージがある中で、今般新しく教科になった英語の教科書を拝見したときに、必ずしも文法から入っていないという点で、ある意味違和感を覚えました。それはもう、各者全てそうです。</p> <p>ただ、文法から入るというよりは、小学生になぜ英語を教えるのかというのは、先生も一緒に学ぶ形で、自分の母語、日本語以外の言葉でコミュニケーションを</p>

	<p>とれると。コミュニケーションツール足り得るんだという、ある意味成功体験と呼んでいいのかな。そういうものを子供に積ませるといふところに今般の趣旨があるというふうに理解しております。</p> <p>そうした観点から、各者さんの教科書を拝見していったときに、いわゆる英語の問題的なものを並べたり、語彙を充実させたりするのも大切ではあるんですけども、それよりは、いかにコミュニケーションを段階を追って踏ませていくのかがあっていう点で、そういう趣旨をもとにつくっているのかという観点でいくと、先ほど申し上げた2者の教科書がすぐれているというふうに考えました。</p>
重松教育長	ありがとうございます。次に、前川委員、お願いします。
前川委員	<p>私は、三省堂と教育出版の2者を推薦いたします。</p> <p>まず、今回この教科書を選ぶに当たって一番考えたことは、外国語を初めて教科として学ぶ子たちが、外国語嫌いになる、英語学習嫌いになることを防ぎたいと強く思いました。というのは、低学年、中学年そのチャンツであるなど、要するにさまざまなアクティビティを展開したときに、すごく乗ってきます。ところがだんだんそれに乗らない、「何でこんなことしないといけないの」となって、上手な発音ができる子と、自分がそこについていけない、教科書以上にしゃべれる子との差の中で、子供がどういうふうに教科としての外国語を楽しむか、そこが先生の手腕の見せどころなので、余り教科書がごちゃごちゃしていない、それから欲張っていない、そういうことを考えました。</p> <p>今回、全者について、随分思ったのですが、キャラクターが多過ぎる。全ての今回選んだ教科書のキャラクターの人数、名前、ザッと顔と名前を選んだらクラスの数以上のキャラクターを覚えられないといけないんですよ。これは毎回先生が来て、「何々先生が、ふくろうの何とか君が」とか、「未来君が」とか、こんな授業なんて絶対できないですよ。だから、キャラクターの絵はあってもいいけれども、そこに名前をつけるのは、クラスでつけたかったらつけたらいいし、これでないとも余りにも親切過ぎる。</p> <p>それからシールとか、付録とかも多過ぎる。これ、教科書でしょ。教科書に付いてる物なのに、もし転校したときにシールが足りないとなって、新しい学校でやるときに、じゃあ、扱いどうするんですか。掃除のときにシールが落ちてたら、名前も書いてない、てんやわんやになります。もう目に浮かびます。そうじゃなくって、先生の手づくりで今は簡単にプリントアウトとかできるし、要らないも</p>

重松教育長	<p>のを先生がカットしたり、それから工夫をしたり、それで、ほかの教科もやってくるんです。だから、外国語だけ手厚過ぎる、そしてそれを使わないといけないような、そういう錯覚に陥ってはいかんなと思いました。</p> <p>ロールプレイについて、教育出版は非常に緩やかな扱いを示してくれています。クラスで先生とかけあい、友達同士とかけあいで、ロールプレイを工夫することができます。ゆとりがあります。</p> <p>それから、リードアンドアクト、これについては、英語を聞いて物語の内容や流れを追ってみよう。要するにグループなど学習集団の中でみんなで探るみたいな、それってすごく謎を解くみたいで楽しいです。児童に無理のないような展開を、教育出版の方は、すごく工夫されているなど。少し1者に偏りましたけども、先ほどから言っているような観点から、2者を選ばせていただきました。</p> <p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p>
側垣委員	<p>私は、少しほかの先生方と違う観点から、英語ってなぜ学ぶのかと。小学生の時代からですね。いろんな外国人の方とつき合ったりしていると、やはりコミュニケーションを取れるということが一番だと思うので、そして、自分の拙い英語でも、「ああ、伝わったんだ」というふうな思いで、それでまた、それをやってみようというものにつながっていくという、子供たちがまさに初めて出会う教科として英語は、そういうふうな気持ちで取り組んでもらいたいなど。</p> <p>去年、一昨年ですか、ある学校を訪問して5年生の授業を見させていただいたときに、本当に子供たちが、もう生き生きとやりとりをしてるんですね。小さな単語を使いながら、先生の質問に答える。つまり聞くことと話すことっていうのは、やはりコミュニケーションにとって一番ベースだというふうに私は考えておまして、この教科書も各者本当にみんなすばらしい教科書かなと思うんですが、少しデータを見せていただいて、その読むこと、聞くこと、それから話すことのやりとりも含めて、どれぐらいの比率でこの教科書の中に、掲載されているのかというのを少し調べてみたら、その中で私は啓林館と東京書籍が一番多くのスペースを割いておられたんですね。</p> <p>つまり私にとっては、そこがポイントかなというふうな視点で考えましたので、ほかの細かいところは抜きにして、そういうところを子供たちに育ててもらいたいな。4領域も大切ですし、それがベースになると思うんですけども、やはり聞くことと話すこと、それから表現することっていう、そういうふうなところ</p>

重松教育長	<p>を子供たちの力として、つけていただいたらありがたいなというところから、私は、啓林館と東京書籍を選ばせていただきました。</p>
長岡委員	<p>ありがとうございます。長岡委員、お願いします。</p> <p>私は、三省堂と光村図書を推薦させていただきます。</p> <p>三省堂の方は、英語コミュニケーション能力の基礎を総合的に身につけていけるような、聞く、話す、読む、書く、の4技能がバランスよく配置されている点です。それから、初めての教科ということですので、この「ホップ・ステップ・ジャンプ」のプロセスで、先生方も指導しやすいのではないかな。指導しやすいということは、評価もしやすいのではないかなという点から、すぐれているというふうに思います。</p> <p>それから光村図書の方は、学習の流れが非常にわかりやすいということ。それから、6年生の中学校で頑張りたいことってというようなところがあるんですけども、マインドマップなどで考えることを大切にしている、そういった学習になっているところがいいと思いました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方からは、外国語に意欲的に取り組むための工夫があるか。それから他の教科との関連を図りながら、読む、聞く、話す、書く、の学習がバランスよく学べる配列になっているか。そして、外国語を使って友達との意見交換やプレゼンができるなど、そういうふうな目標が設定されているか等を考慮して、三省堂と開隆堂出版というふうにさせていただきました。</p> <p>この結果、三省堂が4人で一番多いので、三省堂で決定させていただいてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、英語は三省堂に決定いたします。</p> <p>そうしたら、次に特別の教科道徳、お願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定	<p>特別の教科道徳の報告をさせていただきます。</p> <p>道徳の教科化のきっかけの一つとなった「いじめ問題」については、全者とも見</p>

委員会委員長

童にとっての喫緊の課題として取り上げられています。直接的教材と間接的教材を組み合わせたユニット教材で取り上げる教科書、直接的教材は極力少なくする方針の教科書などの特徴がありました。

各発行者の特徴ですが、東京書籍は、3年生以上の学年においては、冒頭にテーマを、本文の後に二つの発問という構成になっております。テーマを示すことにより、見通しをもった学習ができるような配慮がされており、また学習をガイドするキャラクターの言葉から、学習意欲を高めるような工夫がされています。

学校図書は、「きづき」と「まなび」の2冊で構成されています。「まなび」の冊子はノートではなく、発問やさまざまな学習活動が提示されているため、それらを参考にしながら、授業展開を自由に構成することに配慮されています。全学年、冒頭に、安心して自分の意見を言える環境づくりのための活動を掲載していることも特徴として挙げられます。

教育出版は、内容項目ごとに教材がまとめられた配列になっています。問題解決的な学習を重視し、答えが定まっていない問いから、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる答えを得るための資質や能力を養うことができるような工夫がされていました。

光村図書は、学習の前に考えてほしいことと、学習後に他の学習や生活の中で考えてほしいことをつなぐキャラクターが配置されており、教材と子供をつなぐ工夫がされています。視覚的に子供の興味をひく漫画形式や、一枚の絵から考える題材など、多様な教材を取り上げていることも特徴の一つです。

日本文教出版は、本冊の教科書に加えて別冊「道徳ノート」があります。本冊では、題材ごとに粗筋や主な登場人物等を示しており、教材内容を素早く理解でき、思考や議論の時間がつくりやすい工夫が見られます。また、別冊「道徳ノート」は、自由に書き込める欄を設けて、活用しやすいような構成となっています。

光文書院は、他者と比較して全学年とも教材を多く掲載しており、学校の実情に応じて教材を選択できるように構成されています。巻末に「学びの足あと」が配置されており、各授業と学期ごとの振り返りができるようになっております。

廣済堂あかつきは、別冊「道徳ノート」がありますが、各内容項目における道徳的諸価値についての汎用的な問いと、フリーノート欄で構成されており、教科書の発問例とは違う発問をする場合にも配慮されています。また、本冊には、教材と関連したコラムや情報モラル関連のコラムを3年生以上に設定しています。

以上でございます。

重松教育長	<p>ありがとうございます。今の説明で何か質問ございませんか。 よろしいですか。そうしたら、前川委員からお願いします。</p>
前川委員	<p>道徳は、別冊、分冊になっているものをまず落としました。 ノート形式も私はだめだと思っています。 学習指導要領の前文の中にこういう文章があるので、これが私にとっての非常に大事な根拠です。根拠というか、よりどころです。学習指導要領前文、「また、各学校がその特色を生かして、創意工夫を重ね長年にわたり、積み重なってきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、児童や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動のさらなる充実を図っていくことも重要である。」学習指導要領は、もう基本ですよ。教育活動を展開する上で、基盤となる物です。それを踏まえてなおかつ、それだけではだめなんです。学校はしっかりと研究して、工夫をして、地域に開かれた教育課程として、学びの環境を整えないといけない。 学びの環境の一つは、授業ですよ。ノートの中に、普通なら生徒と教室の中でやりとりをしたり、みんなで考えたりできるものが全部あらかじめ、発問が決まっている。どのクラスでも。そんなノートの中でやるのは授業書づくりです。かつて流行りました。誰がやっても同じように授業ができる。そうじゃないんですよ。各学校が、学習指導要領の前文で期待されているのは、学習指導要領に沿った内容と教科の特性によって、どう学習活動に展開するか。これは、教科の特性をしっかりと見きわめてやらないとだめです。内容も決まっています。そこで言うと、緩いのがいいのではなくて、「考え議論する道徳」と言いながら、考えさせずに誘導して落とすどころが決まっている。そういうのを随所に、私は感じてしまう。私のような先生がもしいるとしたら、教科書はきっとそうになってないですよ。でも、誤ってしまいますよね。 1年生で全部の教科書に扱われている、これ、2年前も言いましたけど、もう一度言いますね。「カボチャのつる」という題材なんです。これが各者の中で扱いが違うんです。「カボチャのつる」で、「カボチャは威張って言いました…威張ってるんやな」と、1年生でも誰だって思います。「カボチャは威張ってそう言いました。」「犬は怒って、カボチャのつるを踏みつけました。」要するにカボチャのつるは、つるを伸ばしたから、犬が怒って踏みつけられて、カボチャが悪い。こんないじめと一緒に。何で犬はカボチャのつるを踏みつけるの。踏みつけられたらカボチャだって、「またいで行ったらいい」と幾らでも言い返します。でね、これ、</p>



道徳で教えないといけない観点はあるけど、この観点をどう生かすか。そうすると、いや、「カボチャもカボチャ、犬も犬だ」こういう展開が僕は道徳だと思ってるんですよ。「犬は怒ってつるを踏みつけました」これはもう1者ありますよね。それから、「ええい、道を俺はふさいでしまうんだ」と書いてあるものもあるし、書いてないものもある。要するに、道徳の教材として、ふさわしいかどうかは、どういう言葉を原文、物語の本文からしっかり生かすか、それとも抜くか、そしてどういう挿絵を入れるか。各者が工夫してると思うんですよ。「意地悪そうに言いました」、意地悪そうに言うたら、意地悪ですよ。

なぜ、ここにこだわるかと言ったら、カボチャというのは、小学生で扱うんですよ。カボチャを植えるんですよ。「カボチャは、みんな知ってるか、畑見てご覧、カボチャってね、周りにつるを伸ばしても邪魔にならない、空いているところに植えるやろ。あれってカボチャが実をつけるつる。ここに実をつけるから、残りのつるは実をつけない。何で実をつけないと思う。実をつけるつるを、実を大きくするためにつるをいっぱい伸ばして、そこで葉っぱで光合成をやって、そしてカボチャは育てる。そういう植物。」価値観の違ういろんな人たちがいるって、その人たちと生きるのが、道徳でしょ。

その後、僕の好きな教材、「14匹のお月見」。学校図書さん。これね、すごい日本の伝統文化に、何て言うかな、心にしみ入るようなんです。ところが、この「14匹のお月見」で、勉強した子供たちは、やがて「14匹のカボチャ」という絵本も手にする子が多いです。そのときに、「カボチャってそうやねんな」と、いろんなことを勉強します。だから、これは先生の扱い次第かもしれないけれども、でも、やはり僕はいろんな多様な考え方に触れたり、多様な考え方を引き出したり、いろんな意見が展開できるような、そういう道徳の教材、それから持って行き方、キャラクターの発言。それから、ノートが必要だったらクラスで、ノートを先生がワークシートでいろんな工夫をする。ほかの教科と同じように展開ができたかなと思っています。

光村図書と学研さんの2者を推薦します。

側垣委員

私は、全部見せていただいて、前川委員が今おっしゃったように別冊、分冊があるのは、私も反対です。そこは、考慮に入れませんでした。そのほかも見せていただいて、それぞれ工夫がなされています。

いじめの題材にしても、それぞれの各者が真剣に取り組んでいらっしゃるというふうに思いますけれども、その中でやはり私は、光村図書と学研を推薦したいと

	<p>いうふうに思います。</p> <p>特に、光村図書の方は、福祉や人権への記述、あるいは、子供の権利条約について記述があるのが光村さんだけなんですね。それから、兵庫の大震災の取り上げであったり、地域の播州そろばんのことを取り上げていらっしたり、三木露風というか兵庫県の人物を取り上げているところからいうと、ここがいいんじゃないかなと。</p> <p>それから学研の方も、非常に現代的な表現、わかりやすい表現をして、命の教育というところを目標とされているものが伝わってくるような構成になっていますし、いじめのところについても、やはり先ほどの命の教育ということは、重点的なテーマとして取り上げられているので、それぞれの学年に応じた題材を取り上げてしっかりと提起されているように思います。そういう理由で、学研と光村図書を推薦したいというふうに思います。</p>
重松教育長	ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。
長岡委員	<p>私も光村図書と学研を推薦させていただきます。</p> <p>両出版者に共通していることは、バランスよく教材が配置されていること。それから、イメージを豊かにするような挿絵が適所に配されている点です。それから、少しこのあたりは難しいんですけども、生活をしていくための基礎となる道徳性というようなものが、うまく表現されているんじゃないかなというふうに感じました。以上です。</p>
重松教育長	ありがとうございます。藤原委員、お願いします。
藤原委員	<p>少しびっくりしたんですけども、私も推薦したい2者は光村図書と学研を選びました。</p> <p>理由は、三つ、四つほどあります。</p> <p>まず一つは、いわゆる道徳教科書の中で、私の印象としては各者さん、例えばジェンダーの問題であるとか、人種問題、環境問題、障がい者の問題など、現代におけるトピック、こういうものを取り上げられるんだなというふうに思いました。そういった中で、こういった現代的なトピックをバランスよく取り上げられていらっやるのが、申し上げた光村図書さんと学研さんという印象を受けました。</p> <p>もう一つは、何回も出てきますけれども、西宮の子供に読ませるものとしては、</p>

	<p>阪神淡路大震災のトピックがあった方がいいと考えます。これは多けりやいいっというものではないんですけども、少なくともないっていうのは、どうかと思いますし、あった上でより深く鋭く切り込んでいる。例えば、リトアニアの杉原千畝さんの話を阪神淡路大震災のことと絡めて書いておられる教材などもありますので、この点が充実していたのが先ほどの2者ということになります。</p> <p>また、日本、我が国に対する話というのもよく出てくるんですけども、「外国人が日本のこんなところをすごいと思っている」的な記述よりは、「世界も日本もこれだけ多様性があるって、お互いにイーブンな関係にあるんだよ」という視点で書かれている記事があったほうがやはり、他国も尊重するし、我が国のことも尊重すると。そんな大人に育ってくれるだろうというふうに考えました。</p> <p>その点において、その2者がすぐれていたと思います。</p> <p>後、光村さんのほうで、ヨシタケシンスケさんのイラストがあって、これは子供たちに今大人気のイラストレーターですので、この方のイラストがあるのは、非常にいいなと思いました。以上です。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も光村と学研です。子供が主体的に考えること、そして自分としての考えがきちんと持てるか。そのことをみんなと十分に話し合えるような教材であるか。さらにそこで学んだことを自分の中に取り込んで、じっくり考えて行動して体現できるか、さまざまな題材があるかということを検討した結果が、光村と学研かなとなりました。</p> <p>そうすると、これまた全部一緒なので、また、最終的にどちらかで決めたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>すぐでもよろしいですか。では、前川委員から。</p>
前川委員	光村でお願いします。
側垣委員	私も光村。
長岡委員	私も光村で。
藤原委員	光村でお願いします。

重松教育長	<p>この時点で決まりですけど、私も光村です。</p> <p>では、光村ということで決めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>ご異議を認めませんので、特別の教科道徳は光村図書に決定いたします。</p> <p>これで一応、全部決定したと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>最後に、その他の教科用図書採択についての審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。谷口選定委員会委員長、お願ひします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>まず、中学校、義務教育学校後期課程教科用図書については、「特別の教科道徳」以外の教科書について、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の定めるところにより、本年度は採択替えのできる年度にあたる年度、「採択替え」の年に当たりますが、本年 5 月 15 日の教育委員会臨時会において決定いただいた「令和 2 年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」によって、「採択替え」を見送り、昨年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。各教科の採択教科書の一覧を 22 ページに記載しております。</p> <p>次に、特別支援学級の児童生徒の教科書については、検定教科書（下学年の教科書を含む）や、文部科学省による著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、これらを使用することが難しい場合は、検定教科書などにかわる教科の主たる教材として、絵本などの一般図書を採用してもよいことになっております。</p> <p>ここからは、この一般図書に関する報告となります。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の 24 から 31 ページに記載しております。</p> <p>本市では、平成 23 年度より、文部科学省及び兵庫県教育委員会が示す一般図書のリストをもとに、西宮市版のリストを作成し、教育委員会に採択していただいております。</p> <p>本年度の調査研究では、昨年度作成したリストをもとに、特別支援学級に在籍する個々の子供を想定し、教科、学年、障害種別における適正を判断して、1 冊を一覧から外すとともに、新たに 2 冊を追加し、合計 195 冊の図書を掲載しました。この 195 冊のうち、24 から 28 ページには、文部科学省発行の「一般図書一覧」に掲載されている 339 冊の図書のうち、図書 163 冊を西宮版のリス</p>

トでは採用していることとなります。

29 ページに掲載されている 32 冊は、文部科学省発行の「一般図書一覧」には掲載されておりませんが、調査研究をもとに、西宮市版のリストに掲載しているものです。

30 ページをご覧ください。こちらに、昨年度のリストから削除した図書と追加した図書をまとめております。ページの上側の表に削除する 1 冊を掲載しております。

削除にする理由について、説明いたします。「安野光雅（あんのみつまさ）の絵本はじめてであうすうがくの絵本 1」（初版 1982 年）ですが、発見の喜び、創造の楽しさに満ちた数学の本として、西宮版一般図書一覧に挙げてまいりましたが、この絵本の中に出てくる「なかまはずれ」という言葉だけが、赤字で多数使用されている点が調査の中で話題となりました。特別支援学級の子供たちがこの言葉だけを捉え、学校生活やふだんの生活の中で誤った使い方をしてしまう恐れが拭いきれないことから、人権的な立場で削除する結論を得ました。

その下の表に記載している、リストに追加する 2 冊の図書について、説明いたします。表の一番左の番号で言う No. 165 の「ほんのおおきさ水族館」と、No. 167 の「もっと！ほんのおおきさ動物園」については、どちらも 20 種類の動物の体の一部が実物大の写真で紹介されている教材です。それぞれの動物について、イラストなどを使って特徴を説明しているところから、楽しみながら学習を進めやすいことはもちろん、何よりも実物大であることから、興味を引きやすい点が、リストに追加する図書に挙げた理由です。

同じく、報告書 30 ページの下段をご覧ください。

これまで既に西宮版のリストに掲載されていた一般図書の中にも、他の教科や他学年、他の障害種別でも使用可能なものがあります。この点についても調査研究を進めました。具体的には、兵庫県教育委員会による調査研究資料を参考にしながら、各図書の内容を確認した結果、12 点の図書について、教科や学年、障害種別を変更いたしました。それが 30 ページの下段に記載してある図書です。具体的には、図書を吟味していく中で、わかりやすく丁寧な内容のものについては、下学年についても対象を広げることとしました。また、内容の程度やわかりやすさから知的障害の児童生徒にも対象を広げた図書もあります。

さらに、他教科にも使用できるものがないかを確認したところ、例えば、No. 18 の「りかのこうさく 1 ねんせい」は自然の素材を使った工作を実際に行う観点から、生活や理科以外にも「図画工作・美術」の図書として使用できると判断いた

	<p>しました。</p> <p>各学校で特別支援学級の個々の児童生徒が使用する一般図書を定める際は、担任を中心として、管理職、保護者、特別支援教育課が連携を図り、検討を重ねて、西宮市版のリストの中から、個々の子供の状況にあった、最も適切な教科用図書を選ぶことになります。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」については、以上でございます。</p> <p>ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>説明がありましたように、特別の教科道徳以外の中学校の教科書について、義務教育学校課程の教科用図書について、今年は採択替えをしないというのは、来年度教科書の採択をしなければいけないので、このままで継続という形でいきます。</p> <p>それから特別支援学級用の一般図書につきましては、先ほど 30 ページにありましたように、1 番目のものを今回「なかまはずれ」という言葉で少し問題があるのではないかとということで外すということと、それから新たに 2 冊が加わったこと。それから、学年の障害種別の数をもう一つ動かしたという以上の観点です。</p> <p>これについて何かご意見何かありましたら。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>「なかまはずれ」とい言葉について問題があるのかなと思います。これは一応、外すということでよろしくお願ひします。</p> <p>そうしたら、これについては、このまま採択しても異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>では、これで異議を認めませんので、報告のとおり採択させていただきます。</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>以上で、議案第 26 号「令和 2 年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」の審議を終了いたします。</p> <p>では、これより非公開案件に移りますので、傍聴者の方は退室をお願いします。</p> <p>(傍聴者退出)</p>
重松教育長	<p>では、一般報告の①「(仮称)西宮市立第 1 義務教育学校説明会の開催について」</p>

<p>学校改革推進課 長</p>	<p>を議題とします。学校改革推進課長、お願いします。</p> <p>(仮称)西宮市立第1義務教育学校説明会の開催について、ご説明いたします。資料をご覧ください。こちらの資料で8月2日の教育こども常任委員会において、所管事務報告を行います。</p> <p>まず、資料1ですが、学校説明会の実施について、まとめております。</p> <p>8月17日、18日の2日間にわたり、市内全6会場で開催いたします。</p> <p>内容は主に、新設校の概要や、就学までの流れとなります。</p> <p>対象者は、この学校への就学に関心のある保護者です。</p> <p>7月10日号の市政ニュース並びに市のホームページで広報をしています。</p> <p>電話とインターネットでの申し込み形式とし、先着順で受け付けています。</p> <p>8月9日まで受け付けを行います。昨日までに177件の申し込みが既にございます。さらに、鳴尾公民館につきましては、定員に達したため、受け付けを締め切っております。市役所東館についても、定員の30名を超えましたので、一つ大きなお部屋に変更しております。</p> <p>なお当日は、今、皆様のお手元にお配りしておりますA3二つ折りのパンフレットの内容についてパワーポイントを使用し説明してまいります。</p> <p>パンフレットの方をご覧ください。表紙には、ドローンによる西宮浜小中の空撮写真を真ん中に配し、開校宣言、校訓、学校教育目標、学校経営の基本コンセプト、めざす子供像など、学校の骨格となる部分をお示ししております。</p> <p>続いて中をご覧ください。「義務教育9カ年の一貫教育を行います」ということで、教育課程は、基本的に他の小中学校と変わらないこと、学年段階区分は、義務教育学校ならではの「4、3、2制」とすることで、子供の発達状況に合わせた指導上の工夫をすることなどを載せています。</p> <p>また、現時点で検討がなされている内容としまして、教職員の組織体制の変化や、系統的な教科等学習、それに伴う、段階的な教科担任制の導入や教職員による切れ目のない支援体制、給食や制服といった具体的な学校生活にかかわること、5年生から部活動への参加が可能となること、これまで同様に異学年交流活動を取り入れていくことなども説明しています。</p> <p>続いて「3本の柱で教育活動を進めます」では、これまでも、西宮浜小中の連携・一貫教育を進める上でキーワードとなっていた「せかい、じぶん、ふるさと」この三つのキーワードについて、具体的な教育活動に落とし込む際のイメージを示しています。</p>
----------------------	---

	<p>「先進的な学習活動に取り組みます」では、今回の大きな目玉となります西宮市立総合教育センターの附属校化につきまして、また、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として研究を進めていることや、今後、本格的に取り組むを進める先進的な学習活動の具体として、「プログラミング教育」、「外国語・外国語科」についても、9年間を見通したカリキュラムのイメージを提示しております。</p> <p>最後に「保護者・地域と共に子供を育みます」では、開校と同時に導入予定のコミュニティ・スクールについて、開校後のPTA活動の方向性、開校までの主な流れについてお示ししております。</p> <p>なお、この資料には載せておりませんが、県立国際高校や神戸女学院大学との文化的な連携の取り組みにつきましても、口頭で説明していく予定にしております。</p> <p>以上が説明の内容となりますが、説明会の申し込みの電話対応などで感じますのは、開校する義務教育学校に対する多くの保護者からの強い期待感でございます。その思いにしっかりお応えできるように、また、魅力が十分に伝わるような説明会となりますように、抜かりなく準備の方を進めてまいります。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
重松教育長	説明は終わりました。本件にご意見、ご質問はありませんか。
側垣委員	これ、両日10時からというのは、2会場で同時に開催なんですね。
学校改革推進課長	説明するグループを2グループ用意しておりまして、同時刻に2会場で開催をしていくような形で考えております。
重松教育長	<p>ほかにはございませんか。</p> <p>これは、意見はいつまで、語句を少しこういうふうにしたほうがいいんじゃないかというのは大丈夫ですか。修正は。</p>
学校改革推進課長	最終的には、8月2日に予定されております所管事務報告でご説明をさせていただくということを念頭に進めておりますので、それに間に合うタイミングでということで、お願いできたらと思います。
重松教育長	<p>では、7月いっぱいとは言わないけど、7月25か26日ぐらい。</p> <p>もし、これを読まれて何か気がつくことがあったら、連絡してください。</p>



藤原委員	<p>教えていただきたいんですけど、これって西宮市内に住んでいたら誰でも通えるってことになるのか、希望すれば入れるってということなんですか。</p>
<p>学校改革推進課 長</p>	<p>基本的には西宮に保護者とともに在住しているというのが、まず一つ就学のための大きな条件ということになります。通学については、現在、就学条件としまして、1時間程度で通学が可能であるというようなことを考えておりまして、そうなりますと、基本的には市内にお住まいであれば、何とか通学は可能ではないかというのが一つです。</p> <p>さらに、就学を希望すれば全て就学することができるのかというご質問ですが、現在使用している小学校、中学校の校舎をそのまま使用していくこととなりますので、学校としての規模というのは、あらかじめ各学年、最大でも2クラス規模を現在では予定しています。その点も考慮しますと、各学年70名程度が定員というふうなことで考えておりまして、つまり毎年募集の方は行ってまいります。希望があれば基本的には、就学いただくこととなりますが、70名をもし超えた応募があった場合については、抽選ということになります。</p>
藤原委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
重松教育長	<p>校区は変わりませんので、その校区の人は優先的に必ず入れますと。それを越えた場合については70名ということで説明がありました。</p>
<p>学事・学校改革部 長</p>	<p>先ほどのスケジュールの関係の質問、修正についてですけれども、すみません、議会の正副議長等への説明というのがございまして、できましたら、来週月曜日の22日までにいただけたら非常にありがたいところです。</p> <p>ただ、本当に文字が間違えている、少しここがおかしいとかというふうなことがありましたら、25日までには言っていただけたら最終的な修正をかけたいと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
長岡委員	<p>すみません。藤原委員のご質問に加えてですけど、毎年募集をされるということなんですが、各学年募集されるということですか。</p>
学校改革推進課	<p>今、ご指摘のありましたように、基本的に70名に達していない学年については、</p>

長	毎年、70名に達するまでの部分について、募集をさせていただく方向で考えております。
重松教育長	ほかにはよろしいですか。 そうしたら、もし何かありましたら、また、連絡をよろしく申し上げます。 では、これをもちまして、一般報告①を終了します。 以上で予定されていた議題は全て終わりました。 これをもちまして、第2回教育委員会臨時会を閉会します。 ありがとうございました。  (終了)